YEARBOOK 2022

2022年度活動報告書

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

地域資源を活かした新たな体験学習創出授業
「港区立小中一貫教育校お台場学園」
お台場海浜公園おだいばビーチ

目 次

3 **ご挨拶**
代表理事　佐伯 美香

4 **2022年度賛助会員紹介**

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト事業
7 ・ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022
37 ・千葉市政令指定移行30周年　ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022

里浜づくり・ビーチライフ啓発事業
67 ・第14回ビーチライフIN新潟
69 ・第49回川崎みなと祭り　はだし運動会
71 ・ビーチライフin伊予
76 ・はだしになろう　親子でビーチスポーツレク
78 ・ビーチライフin柏崎
80 ・ビーチライフin須磨2022

地域資源を活かした新たな体験学習創出授業
86 港区立小中一貫教育校お台場学園

96 **海辺を守ろう！創ろう！育てよう！ブルービーチプロジェクト事業**

海辺の安全・防災事業
104 ・AED講習会
105 ・災害時避難経路図の啓発

ビーチで健康力アップ支援事業
107 ・お台場ビーチバレー2022
113 ・川崎ビーチバレーinかわさきの浜2022

当協会の活動
117 ・佐伯美香　新代表理事就任
118 ・港区感謝状授与

119 **はだし文化新聞**

124 **リリース記事**

ご 挨 拶

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

代表理事 佐伯美香

平素より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
「一年を通じて人々が集い、ふれあい、楽しめる『海辺の広場』の創造」を理念に、全国各地で活動し、20年を迎えることができました。多大なご支援、ご協力をいただきました関係者の方々に、心から御礼を申し上げます。これまでビーチをしっかり踏みしめて創り上げてきた「はだしの足跡」を継承するべく、2022年7月に代表理事のタスキを受継ぎました。次世代によりよい海辺環境を残せるよう、尽力して参ります。

さて、昨年は4年ぶりの開催となりました「ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022」を皮切りに、「はだし運動会（神奈川県川崎市）」「ビーチライフin柏崎（新潟県柏崎市）」「ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022（千葉県千葉市）」「ビーチライフin須磨2022（兵庫県神戸市）」など各地で開催しました。新たな競技団体も加わり、ネットワークの強化を図るとともに、ビーチの在り方を再考し、老若男女、そしてハンディキャップのある方など万人が楽しく過ごせる環境づくり「心のバリアフリー」を掲げ、モビマット（砂の上でも車いす、ベビーカーが入れるように敷くマット）の設置や日本財団ボランティアセンター「ぼ活！」と協同で、初の親子でボランティア活動に参加していただいたりと、様々なバリアを取り除くことで、人と人との交流から笑顔の花を咲かせることができました。

また、「地域資源を生かした新たな体験学習の創出」として、都内初の「ビーチバレーボール体育授業」への参画を港区立小中一貫教育校　お台場学園 港陽小学校・港陽中学校5年生、中学1年生を対象に実施しました。ビーチを活かし、「はだし」になって、人間本来の足の機能を高めながら心身の健康を図り、また活動の中で砂浜に落ちているゴミを拾う「ビーチクリーン」を通じて、環境保全への理解を深めることを目的に取組みました。
授業を通じて競技の楽しさだけでなく、愛郷心の育みや、夢や目標を持つことの大切さ、そして海辺を利用した新しい学校教育の可能性について実感し、今後継続した事業となるよう、学校、地域と共に連携して参りたいと思います。

＜海辺環境啓発の強化＞

当協会では、SDGｓの14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」に基づいた「海辺を守ろう！創ろう！育てよう！ブルービーチプロジェクト」を取り組んでおります。この活動は、年々深刻になる海辺の浸食やゴミ問題に「島国日本の大切な海辺、通年集える環境を守ろう！」という志から、2008年からビーチを利用するアスリートを中心にスタートし、イベントを通じて普及・啓発を行っております。

当協会が推進している「ビーチライフ」は、屋外のビーチで過ごすことによってエアコンや電気を使うことで排出されるCO^2の削減につながること、イベントでは参加者と一緒に「ビーチクリーン」を行い、海洋汚染やプラスチックゴミ問題に触れることで、理解を深めています。また、「ふるさと東京を考える実行委員会」とビーチアスリートとともに、海水を浄化させる効果がある「竹ひび一人一本設置活動」に取り組んでいます。

海辺で活動する団体の使命として、次世代によりよい美しい海・海辺環境を引き継げるよう、啓発に努めて参ります。

引き続き、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜2022年度賛助会員紹介＞

一年間ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

引き続き活動にご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

みなと総研

一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 JAPAN MARINA & BEACH ASSOCIATION

夢から感動へ―ハートテクノロジー 東洋建設

東亜建設工業 TOA CORPORATION

NTTコムウェア

金鶴食品製菓株式会社

MIKUNIYA

KYOEI GROUP 株式会社共栄土木

人と環境に優しいコンクリートづくりを目指す 株式会社柏木興産

RICCA Research Institute for Creativity, Culture and Arts 株式会社 文化創造研究会

株式会社トマック

株式会社ヤナイ

FORVAL

日下部建設株式会社

松浦企業株式会社 MATSUURA

SHIBATA

建ててからも、そして未来も。 Hozenall 株式会社ホゼナル

一般財団法人 沿岸技術研究センター CDIT

株式会社 日本港湾コンサルタント

ニシキコンサルタント株式会社 NISHIKI

建設コンサルタント 株式会社エコー ECOH

NSPO 一般財団法人日本スポーツ推進機構

NISHIKI SHIPPING & CONSTRUCTION Co.,Ltd. 錦海運建設株式会社

五洋建設 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION

みらい建設工業株式会社 MIRAI

りんかい日産建設

深田サルベージ建設株式会社

若築建設 WAKACHIKU

CERULEAN TOWER TOKYU HOTEL 下田 東急ホテル

寄神建設株式会社 YSC

株式会社池間組 IKEMA

あおみ建設株式会社

株式会社 不動テトラ FUDO TETRA

東光電気工事株式会社

加藤総業株式会社

※順不同

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト事業
ジャパンビーチゲームズ®
フェスティバル

『ビーチゲームズ日本招致プロジェクト』とは

国内オリンピック委員会連合（ANOC）にて2019年に第1回「ワールドビーチゲームズ」を開催する方針が決定したことを受けて、2014年に本プロジェクトを発足しました。この大会は、ビーチバレーボール、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチハンドボール、トライアスロン、ウェイクボード、サーフィンなど、海や砂浜を舞台にしたスポーツの世界大会です。
本プロジェクトでは、これを機にビーチ・マリンスポーツ総合大会を日本に招致するため、幅広く国民にご理解いただけるようにPRすると共に、ビーチ・マリンスポーツの機運と競技団体との横の繋がりをもつネットワーク強化を推進します。
プロジェクトナビゲーターは、元ビーチバレーボール選手で五輪出場をした、朝日健太郎と元ビーチバレーボール選手である浅尾美和が旗振りとなり招致を推進するとともに、ビーチ・マリンスポーツを活性化して、日本の海辺に「海水浴文化」からオールシーズン賑わう「ビーチ文化」を形成することを目指します。

＜プロジェクトの取組み＞

① 「勉強会」

プロジェクトの啓発に取り組んできた中で、各有識者（16競技団体・自治体・行政・企業の参加による）と、ビーチゲームズ招致実現に向けた情報・意見交換を行う勉強会を実施しました。勉強会は全4回（2016年～2017年）開催し、テーマ（分野）ごとにビーチスポーツの現状・課題をご意見いただき、それを踏まえ招致に向けた取組みの実現を目指し、推進していきます。

【テーマ】

○第1回 「ビーチスポーツの現状を知る」
○第2回 「ビーチスポーツ界　課題の解決に向けて」
○第3回 「ワールド・アジアビーチゲームズの日本招致の可能性と課題」
○第4回 「ワールド・アジアビーチゲームズの日本招致3つの提言

② 「ワールドビーチゲームズ」「アジアビーチゲームズ」視察

アジアオリンピック評議会（OCA）主催の「アジアビーチゲームズ」が、2008年より2年に1度（現在4年に1度）アジア諸国で開催され、2019年10月には「第1回ワールドビーチゲームズ」（主催：国内オリンピック委員会連合（ANOC））がカタール・ドーハにて6日間にわたり開催されました。

＜アジアビーチゲームズ＞

○2008年：第１回アジアビーチゲームズ／インドネシア・バリ※
○2010年：第２回アジアビーチゲームズ／オマーン・マスカット
○2012年：第３回アジアビーチゲームズ／中国・海陽
○2014年：第４回アジアビーチゲームズ／タイ・プーケット※
○2016年：第５回アジアビーチゲームズ／ベトナム・ダナン※
〇2023年：第６回アジアビーチゲームズ／中国・海南省三亜市（予定）

＜ワールドビーチゲームズ＞

○2019年：第1回ワールドビーチゲームズ／カタール・ドーハ※
○2023年　第2回ワールドビーチゲームズ／インドネシア・バリ
※は現地視察を実施。

③ 「ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル」イベント実施

2014年「ビーチゲームズ日本招致プロジェクト」を発足し、当大会招致に向けた勉強会、アジア・ワールドビーチゲームズ視察を実施して情報を集約してきました。今後の招致の取り組みを具体的な活動とするため、2017年より「ビーチゲームズ日本招致プロジェクト／ジャパンビーチゲームズフェスティバル」と称し、本大会に向けたプレイベントの位置づけとして、全国の自治体、国民の皆様にご理解いただけますよう啓発イベントを開催いたしました。併せてビーチ・マリンスポーツの魅力を発信するとともに、競技団体とのネットワークを強化することを目的としています。

ジャパンビーチゲームズフェステイバル ４つの大会コンセプト

1　国内におけるビーチ・マリンスポーツ競技のメジャー化
2　開催都市のインフラに合わせたビーチ・マリンスポーツの最適化
3　国際大会招致に向けての取り組みについて全国に発信
4　新しいスポーツニーズの取り込みにおける、スポーツファン獲得

オフィシャルロゴマーク

JBG JAPAN BEACH GAMES®

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト
ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル
お台場2022
Have a Fun ! BEACH SPORTS !

＜実施概要＞

コンセプト： 2014年から「ビーチゲームズ日本招致プロジェクト」を発足し、各競技団体とビーチゲームズの理解と連携を図るための勉強会を、過去4回開催し、アジアビーチゲームズ、ワールドビーチゲームズの視察を重ね、国際大会の誘致を検討して参りました。また、2017年5月から「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2017おだいば」を実施し、具体的なイベントを通して国民の皆様に、各種目の公式戦の観戦や体験をしていただき、ビーチスポーツの魅力を体感いただき好評を得ることができました。これを踏まえ、この会場では、ビーチ・マリンスポーツが体験できる「はだしテーマパーク」を演出し、トップアスリートと触れ合うことで、より身近にビーチスポーツを体感できる機会といたします。また、**「心のバリアフリー」形成を目的**とし、幼児から大人までパラスポーツをトライできるようなプログラムも作り、自然の中で**心のハードルを排除しビーチスポーツを通して「誰もが友達になれる（声を掛け合う）ビーチ」を作ります。**そして、国際大会である『アジアビーチゲームズ』『ワールドビーチゲームズ』の存在を全国の自治体、国民の皆様に理解していただき、日本に招致するご理解と共感を、更にはビーチ・マリンスポーツ競技団体のネットワークを強化することを目的としています。

ジャパンビーチゲームズフェステイバルお台場2022　大会コンセプト
1　国内におけるビーチ・マリンスポーツ競技のメジャー化
2　開催都市のインフラに合わせたビーチ・マリンスポーツの最適化
3　ビーチマリンスポーツ総合国際大会招致に向けての取り組みを全国に発信
4　「心のバリアフリー」の形成をめざし、誰もが友達になるため、幼児から大人まで様々なパラスポーツを体験し楽しむ

主　　催： ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会

共　　催： 一般財団法人みなと総合研究財団

後　　援： 国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、東京都、港区、
一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、臨海ホールディングスグループ
(㈱東京テレポートセンター、東京港埠頭㈱、㈱東京ビッグサイト、㈱ゆりかもめ、
東京臨海熱供給㈱）、公益財団法人日本健康スポーツ連盟、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

協　　賛： HAMATABY(シバタ工業株式会社)、アタック(花王株式会社)、
XTEND Japan(アダプトゲン製薬株式会社)　※順不同

協　　力： 特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーセンター、
公益財団法人日本財団ボランティアセンター、フジテレビCSR・SDG s 推進プロジェクト
（順不同）

開 催 日： 2022年5月3日(火・祝)～5月6日(金)
※5月5日(木・祝）開会セレモニー／「こどもビーチ」

会　　場： お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

天　　候：

5月3日(火・祝)	晴れ	（最低気温　9.3℃、最高気温　20.4℃）
5月4日(水・祝)	晴れのち曇り	（最低気温　10.8℃、最高気温　25.0℃）
5月5日(木・祝)	晴れ	（最低気温　13.6℃、最高気温　26.3℃）
5月6日(金)	曇り	（最低気温　15.2℃、最高気温　24.5℃）

プログラム数： 大会　10競技
体験　17競技

	プログラム	5/3(火・祝)	5/4(水・祝)	5/5(木・祝)こどもビーチ	5/6(金)
大会	フレスコボール		■	■	
	テックボール		■	■	
	ビーチサッカー		■	■	
	ビーチバレーボール	■	■	■	
	ビーチチア＆ダンスコンテスト			■	
	アクアスロン		■		
	スラックライン			■	
	ビーサン跳ばし			■	
	ビーチウッドボール			■	■
	ビーチテニス				■
	プログラム	5/3(火・祝)	5/4(水・祝)	5/5(木・祝)こどもビーチ	5/6(金)
体験	フレスコボール		■	■	
	テックボール	■	■	■	
	フライングディスク		■	■	
	ビーチウッドボール		■	■	
	ビーチサッカー		■	■	
	コースタルローイング	■		■	
	ビーチバレーボール	■	■	■	
	アクアスロン		■		
	スラックライン		■	■	
	ビーチテニス	■		■	
	ビーチフラッグス			■	
	ビーサン跳ばし			■	
	リトミック			■	
	車いすバスケットボール			■	
	ボッチャ			■	
	ビーチヨガ		■		
	モルック		■	■	

来場者数： 累計50,000人

・5月3日　13,000人

・5月4日　15,000人

・5月5日　21,000人

・5月6日　　1,000人

体験者数：

プログラム	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	TOTAL
ビーチバレーボール			60		**60**
ビーチテニス	120		80	1	**201**
フレスコボール		200	166		**366**
テックボール	180	60	60		**300**
ビーチサッカー			65		**65**
コースタルローイング	90		132		**222**
フライングディスク		102	146		**248**
ビーチウッドボール		50	20		**70**
スラックライン		162	210		**372**
車いすバスケットボール			164		**164**
ボッチャ			172		**172**
モルック		152	226		**378**
ビーサン跳ばし			136		**136**
ビーチフラッグス			90		**90**
ビーチリトミック			142		**142**
ビーチヨガ			60		**60**
TOTAL	**390**	**726**	**1,929**	**1**	**3,046**

＜PR制作物　ポスター＞

印刷部数： 750部

配布先： 一般財団法人みなと総合研究財団、国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、東京都、港区、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、臨海ホールディングスグループ、公益財団法人日本健康スポーツ連盟、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団、特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーセンター、公益財団法人日本財団ボランティアセンター、フジテレビ、各競技団体、協賛企業、他

＜PR制作物　事前配布チラシ＞

印 刷 部 数 ： 1000部

配　布　先　： 一般財団法人みなと総合研究財団、国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、東京都、港区、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、臨海ホールディングスグループ、公益財団法人日本健康スポーツ連盟、公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団、特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーセンター、公益財団法人日本財団ボランティアセンター、フジテレビ、各競技団体、協賛企業、他

<テレビ取材>

放 送 日 ： 5月5日(木･祝)

番 組 名 ： ･newsイット（毎週月曜～金曜　午後3:45～7:00）

･FNNプライムオンライン（https://www.fnn.jp/articles/-/356419）

<掲載記事>

【 情報紙 「りんかいBreeze」 】

発 行 部 数 ： 10,000部（スタイル 朝日、読売、毎日、産経、日経、東京新聞、スポーツ紙、業界紙など、新聞全紙に折り込み）

配 布 エリア ： 台場、東雲、辰巳、有明、青海

りんかい RINKAI Breeze ブリーズ
2022年 4月 8日 208号
第２金曜日発行
発行 © りんかい Breeze 編集室
臨海副都心新聞販売株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲 2-4-2-105
TEL.0120-039-463 FAX.0120-039-468
E-mail : rinkai96 @ poppy.ocn.ne.jp
編集責任者 石原恵子
台場・東雲・辰巳・有明・青海エリアの新聞全紙に折込まれます

月島の長屋

ぐるっと湾岸再発見 No. 65

中央区月島には、今でも長屋が多く建ち並んでいます。現在残っている長屋のほとんどは、１９２３（大正12）年に起こった関東大震災の後、大正末期から昭和初期に建てられたものです。私がまちづくり活動の拠点にしている「月島長屋学校」の二軒長屋も、１９２６（大正15、昭和元）年に建てられました。

さて何故、多くの長屋が関東大震災の後の数年間に建てられたかというと、「震災復興住宅」だったからです。関東大震災では、佃島（現 佃一丁目）を除いて、月島を含む都心部の全てが焼失しました。住宅が不足する中、埋立地の月島は東京市（現 東京都）の所有だったので、復興住宅の建設地にはもってこいでした。短期間で多くの住戸を整備できるようにと、一住戸のサイズは間口２間、奥行き３・５間で統一され、同じ間取りがシンメトリー（左右対称）に並ぶ長屋建築になりました。当時の大工の下小屋（仕事小屋）には、同じ長さの木材がたくさん保管されていたそうです。規格化されて、効率的に建設されていったのです。

長屋一住戸の床面積は１階と２階を併せて44㎡しかありませんが、かつての月島には単身の労働者が多く居たので、１階と２階が別々に貸しだされて、台所とトイレをシェアする住み方が多くされていました。今流行のシェアハウスの先駆けですね。

長屋に暮らす人々には、共同体的なご近所付き合い・コミュニティがありました。出掛ける人を見ると「どちらへ？」「こんにちは」などと声を掛ける、どの家の子どもであろうと悪さをしていると叱る、買物に出掛けるぐらいであれば玄関の鍵は掛けない、夏場は家の中が見えても構わずに開けっぱなし、ご近所でお金を積み立ててまとまったお金を工面する「無尽」、「おすそ分け」などがされていました。

詳しいことは、拙著『東京湾岸地域づくり学』（鹿島出版会）をお目通し下さい。「遠い親戚よりも近くの他人」といったご近所同士の助け合いは、いつの時代でも大切な生活文化だと思います。

志村秀明（芝浦工業大学教授）

二軒長屋。玄関が両側にある。間取りだけではなく、ファサードも左右対称になっている

「安心安全な街 有明」 絵画展示

「有明１丁目」バス停付近の工事のための白壁フェンスが華やいだ。

有明小学校、有明西学園の児童の描いたＡ３判の絵画およそ300点。テーマは「交通安全」と「未来の有明」。

春の交通安全週間を前に２日には同所でセレモニーが行われた。展示は１カ月ほどの予定。

主催：東京湾岸警察署。協力：NPO 法人 有明街づくりプロジェクトほか

JAPAN BEACH GAMES® Festival ODAIBA2022
Have a Fun BEACH SPORTS
ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場 2022

5月３日（火・祝）～５月６日（金） 10：00～16：00
https://www.jbeach.jp/

↑前回のビーチバレーボールの公式大会。　↓ビーチテニス体験会

元ビーチバレーボール選手の濵田聖子さんも来場

ビーチバレーボールの体験

ビーチスポーツの魅力を知り体感して欲しいと「ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場 2022」（ＮＰＯ法人日本ビーチ文化振興協会主催）が５月３日～６日までお台場海浜公園で開かれる。

東京２０２０大会のため閉鎖され、またコロナ禍のため久しかったイベントだが、今回は海辺で、ビーチ・マリンスポーツの国内大会などの公式戦も多く観戦でき、16種ものビーチマリンスポーツが体験できる。

こどもの日イベント

５月５日の子どもの日は、ファミリーで楽しめる「子どもビーチ」。はだしで楽しく健康的にビーチで遊べるように、また「ビーチバリアフリー」として、砂浜の一部にゴムマットを敷き、だれでも砂を肌で感じられるようなスペースも用意される。「ビーサン跳ばし」「ビーチフラッグス」「車いすバスケット」「ポッチャ」など15種のビーチスポーツ体験できる。ビーチバレーボールや車いすバスケットボールなどトップアスリートの直接指導もある。

ステージではビーチチア＆ダンススコンテスト、水際では、シャボン玉や砂遊びもあり、観戦や体験は無料。雨天決行・荒天中止。

＜ビーチ・マリンスポーツ＞観戦／体験
ビーチバレーボール、ビーチテニス、ビーチサッカー、フレスコボール、スラックライン、ビーチウッドボール、テックボール、フライングディスク、トライアスロン、コースタルローイング、ビーチフラッグス、モルック、ビーサン跳ばし、ビーチリトミック（ビーチ de 太鼓、ビーチ de 新体操）、ビーチチア＆ダンスコンテスト
＜心のバリアフリー＞体験
車椅子バスケットボール、ボッチャ
＜海岸防災＞体験　遊佐雅美の海辺の安全教室
SDG s 14. 海の豊かさを守ろう＞体験
ブルービーチプロジェクト（ビーチクリーン）
プログラムスケジュールなどは上記のＨＰで

人気のフレスコボール体験

車いすバスケットボールの根木慎志さんも参加

ビーチフラッグス

ビーチサッカー

【 東京都港区地域情報サイト「みなとく通信」】

U　R　L　： https://minatoku2shin.com/archives/15503404.html

みなとく通信

検索

みなとく通信は、東京都港区の地域情報サイトです。港区民にしかわからないグルメ、イベント、開店・閉店などの雑談ネタを、区民目線でモリモリと発信していきます。

開店　閉店　食レポ　イベント　話題　まとめ　お知らせ　広告掲載　情報提供

など、雑談ネタをモリモリ発信していきます！

2022年05月01日

応援&体験しよう！『お台場海浜公園 おだいばビーチ』で『JAPAN BEACH GAMES®Festivalお台場2022（ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル）』開催！5月3日～6日。

イベント

ツイート　いいね！ 1　拍手 0

GWも始まって数日…

海とか行きたい～！なミナ子に

ぴったりなフェス発見！

ビーチ・マリンスポーツが集結！

大会観戦や体験も？！

『JAPAN BEACH GAMES®Festivalお台場2022』

開催だ～！

《お友達募集》

ミナ子のTwitterを見る

ミナ子のInstagramを見る

ミナ子のfacebookを見る

ウィークリー人気記事TOP5

虎ノ門に『TARO TOKYO ONIGIRI』なるおにぎり専門店がオープンするらしい。

赤坂に『肉野菜炒め ベジー太 赤坂総本店』なる肉野菜炒め専門店がオープンしてる。

『増上寺』境内に『TERA CAFE SHIEN ZOJOJI』なるカフェがオープンしてる。元『お休み処 芝縁（しえん）』だったところ。

『六本木ヒルズ』ヒルサイド地下2階に『MOM&POP'S GELATO（マムアンドポップス ジェラート）』なるジェラート店がオープンしてる。ジェラート『ポップコーンクランチ』食べてみた。

芝5丁目に開設した複合施設『札の辻スクエア』見に行ってみた。

カテゴリー

開店 (510)

閉店 (118)

食レポ (22)

イベント (89)

話題 (75)

まとめ (19)

お知らせ (6)

広告掲載 (2)

情報提供 (1)

最新記事

元麻布にオープンした『つれづれ 徒然菓子店』で『麻布十番ぶりん』『レーズンサンド プレーン』『レーズンサンド 珈琲』買って食べてみた。

東京初出店！？新橋に『横濱本丸亭 新橋店』なる塩ラーメン専門店がオープンしてる。

港南に『品川港南皮膚科』なる皮膚科がオープンするらしい。

六本木に『GRAB A BITE 六本木』なるギルトフリーなチキン屋さんがオープンするらしい。元『NIJI-SUN 六本木（ニジサン）』だったところ。

すっぽんとフカヒレの『銀座 まる市』監修店！麻布十番に『麻布十番 居酒屋 あさごや』なる小料理居酒屋がオープンするらしい。

ロサンゼルスで100年続く味！赤坂に『L.A CLUB FRENCH DIP SANDWICHES』なるフレンチディップサンドイッチの専門店がオープンするらしい。

赤坂に『Local（ローカル）』なるヘアサロンがオープンしてる。

元麻布にあるナポリピザの人気店『SAVOY 麻布十番店（サヴォイ）』が移転するらしい。移転先は麻

【 PR TIMES 】

U　R　L　： https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000040360.html

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

GWにお台場ビーチでテックボール1day大会を開催！

「JAPAN BEACH GAMES Festival ODAIBA2022」にテックボールブースが登場！

一般社団法人　日本テックボール協会

2022年4月12日 10時10分

0

「JAPAN BEACH GAMES Festival ODAIBA2022」は5/3～5/5の3日間開催されます。
テックボールブースも日本テックボール協会主催で3日間体験会無料でご参加いただけますが、それに併せてエンジョイ1day大会も実施します！

「ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場 2022」開催のお知らせ
■開催日程
2022年5月3日（火祝）～5月5日（木）　10:00～16:00

■会場
お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区台場1-4-1）

■入場料
無料　※大会参加のみ有料

この度、日本テックボール協会主催でエンジョイ1day大会及びテックボール体験会を実施します。
大会は5/4（シングルス）、5/5（ダブルス）それぞれトーナメント戦を開催します。
男女混合戦ですので、ダブルスの構成など制約はありません！
もちろん、シングルス・ダブルスどちらとも出場頂いてもOKです。
また、大会の1位～3位には、本大会限定メダルを贈呈！

■シングルストーナメント戦
5/4 13:00 - 15:00（受付開始：12時）
12ポイント1セットマッチ（決勝のみ12ポイント3セットマッチ）
男女混合。最大16名
公式ルールに準拠

■ダブルストーナメント戦
5/5 13:00 - 15:00（受付開始：12時）
12ポイント1セットマッチ（決勝のみ12ポイント3セットマッチ）
男女混合。最大8組
公式ルールに準拠

【 時事ドットコム 】

U R L ： https://www.jiji.com/jc/article?k=000000115.000039815&g=prt

JIJI.COM
新着記事 連載 特集 写真・動画 ランキング 2022
トップ 政治 国際 社会 経済 スポーツ エンタメ 地域
時事ドットコムニュース ＞ PR TIMES ＞ 日本フレスコボール協会（JFBA）、4年ぶりとなる東京・お台…
B!
小 中 大

データ提供 PR TIMES

日本フレスコボール協会（JFBA）、4年ぶりとなる東京・お台場での公式戦「JAPAN BEACH GAMES(R) Festival フレスコボールオダイバカップ2022」を5月4,5日に開催。

Google
Google Chrome を使う
ダウンロード

［一般社団法人日本フレスコボール協会］
前回の開催は2018年5月。当時から活躍を続ける選手たちに加え、近年の著しい普及による新星も現れ、群雄割拠のフレスコボール界。進化した日本のフレスコボールが4年ぶりに東京・お台場に帰ってまいります。

コミュニケーションデザインスポーツ"フレスコボール"の国内での普及活動を行っている、一般社団法人日本フレスコボール協会（以下、JFBA、代表理事　窪島剣璽）は、2022年度の日本代表選手を決める「FRESCOBALL JAPAN TOUR 2022」第3戦として、4年ぶりに東京・お台場での公式戦を開催決定。

コミュニケーションデザインスポーツ "フレスコボール"の国内の普及活動を行う、一般社団法人日本フレスコボール協会（以下、JFBA　代表理事：窪島剣璽）は、2022年度の日本代表選手を決める「FRESCOBALL JAPAN TOUR 2022」第3戦として、東京・お台場で4年ぶりとなる公式戦「JAPAN BEACH GAMES(R) Festival フレスコボールオダイバカップ2022」を5月4,5日に開催することを発表いたします。

＜日本財団ボランティアセンター　ボランティア活動＞

活 動 日 ： 5月4日(水・祝)、5月5日(木・祝) 2日間

参加人数 ： 87名（親子ボランティア5組25名、一般ボランティア62名）

活動内容 ： ・各競技団体が実施する試合や体験の運営サポート
・来場者対応
・ビーチクリーン

JOURNAL
ジャーナル

親子も体験！初夏のビーチで、スポーツボランティア！～ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022～

2022.05.20

大型連休中の5月3日から6日にかけて、「ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022」が、お台場海浜公園おだいばビーチ（東京・港区）で開かれ、4日と5日の2日間には「ぼ活！」サイトで募集したボランティア、のべ87名が活躍しました。今回初めて募集した、親子11組25名（親11名、子ども14名）も含まれています。

このフェスティバルでは「ビーチ文化」をテーマに、ビーチバレーボールやアクアスロン、ビーサン跳ばしなどのビーチ・マリンスポーツを中心に18競技の公式戦や体験会が行われ、ボランティアのみなさんはそれぞれ、競技ブースの運営サポートや清掃活動などで力を発揮しました。今回は、5日の活動の様子をリポートします。

「こんな機会を待っていました！」と話してくれたのは、小学5年生の湊斗くんと親子で参加した藤山瑞恵さんです。4年ほど前に家族でマラソン大会のボランティアに参加して以来、親子で参加できる活動を探していたそうです。

「どんなイベントにも支える人たちがいることに気づき、支える楽しさも息子に体験してほしい。そして、参加者の立場になったときには支えてくれる人たちへの感謝の気持ちをもてるような体験になれば」と参加理由を話してくれた瑞恵さん。「ぼ活！」で募集して昨年11月に福島で行った「復興ｘ農業ボランティア」にも一人で参加して、そんな思いをますます強くしたと言います。

この日は、リボンなどを使いながら体を動かす「ビーチリトミック」の運営サポーターとして用具の準備をしたり、会場内のゴミ収集や清掃イベントなどで幅広く活動。湊斗くんも「ゴミ拾いは初めてだったけど、林のなかでお弁当のゴミをいっぱい拾いました」と、やりがいを感じてくれたようです。瑞恵さんも「子どもたちも楽しめるイベントのなかにボランティアの機会を作っていただき感謝です。息子もがんばっていて、いい時間になりました」と笑顔で話してくれました。

そんな湊斗くんと初対面ながら同い年だったこともあり、「お友だちになれた」と仲良く活動に励んでいたのは沢辺維吹くんです。「ママに、社会貢献ができるからと誘われました。ビーチは、見た目はきれいなのに、ゴミがめちゃくちゃ多かった。ポイ捨てはダメって思いました！」

一緒に参加した母の裕子さんは東京2020パラリンピックで初めてスポーツボランティアを体験。「最初は『一生に一度しかない』とミーハーな動機でしたが、やってみたら、すごく楽しくて、息子にもぜひ体験させたいと思っていました。今日はその第一歩。暑い中、よく頑張っていたと思います。これからもマラソン大会などに一緒に参加したいです」と手ごたえを語ってくれました。

他にも多くの親子ボランティアが活動していました。笑い合い、助け合いながら、親子のきずなも深まったのではないでしょうか。

東京2020大会のレガシー！ ボランティアにはまった人たち

今回のボランティアの大半はボランティア経験者で、長く続くコロナ禍で活動機会が少ないなか、久しぶりのボランティア活動にやりがいと楽しさを実感していました。なかでも多かったのは、東京2020大会をきっかけに、「ボランティア活動に目覚めた」という人たちです。

フランス出身で日本在住歴20年以上になるというアンドレ・フレドリックさんもその一人。東京2020大会の際は、オリンピックでは武道館で、パラリンピックでは複数の会場で通訳などを担当し、今回は「ビーチスポーツも面白そう」と応募したそうです。担当したのは、日本の羽子板のようにラリーをつづける、ブラジル発祥のニュースポーツ「フレスコボール」の体験会です。参加者の検温や用具の貸し出しなどに加え、積極的に通路に出て体験参加を促す声かけも行っていました。

「赴任歴のあるブラジルのスポーツをPRするお手伝いができてうれしい。今後はビーチクリーン活動などにも参加したいです」と額に光る汗をぬぐいながら話していました。

フレッドリックさんとペアで活動していたのは安部慎祐さんです。24歳の大学院生で、東京2020大会ではオリンピック選手村で活動し、「テレビで見ていた選手をサポートしたり、日常生活ではできない体験ができました」とボランティアの楽しみを体感。今年の東京マラソンにも参加して、この日が3回目の活動でした。

「フレスコボールは初めて見ましたが、実況放送もあって、参加者も観客も楽しそうなスポーツ。僕も楽しく活動しています。フレドリックさんも頼りがいがあって助かっています。多様な人と協力して活動できることもボランティアの魅力ですね」と笑顔でした。

写真左：安部慎祐さん、写真右：アンドレ・フレドリックさん

阿久津夏代さんも、「日本にオリンピックが来るなんて、めったにないこと」とボランティアに応募し、ビーチバレーボール会場で活動。「トップ選手の競技を見たり、素敵な仲間もたくさんできました」とボランティアの醍醐味を体験したことから、同じビーチスポーツのイベントということもあり、この日も参加したそうです。綱渡りのように、二点間に張った専用のライン（テープ状のロープ）上で、アクロバティックな動きを行う「スラックライン」ブースを担当し、「間近で、こんなすごいパフォーマンスが見られて、私自身も楽しんでいます。これからも機会があれば、さまざまな活動に参加したいです」と声を弾ませていました。

ボランティアのベテランたちも、活躍！

山賀芳則さんも、「スポーツ活動のボランティアは東京2020大会が初めて」だったそうですが、長年、町内会の防火防災活動に携わってきたというボランティアのベテランでした。

今回は、「ビーチのスポーツって、いろいろあるんだな。見てみたいな」という興味もあって参加。木製のピンを使うボーリングのような競技、「モルック」の体験会のサポート担当でしたが、他にも、地元の活動で培った機転を利かした行動力で重要な役割を果たしていました。

活動中にふと、ブース前の通路にポツンと立っている3歳くらいの男児に気づいた山賀さん。「お父さんかお母さんは？」と声をかけると、「いない～」と言って泣き出してしまったので、優しく手をつなぎ、名前を聞きだし、「〇〇くんのお父さ～ん」と発しながら会場内を探して歩きました。5分ほど歩くと、お父さんが駆け寄ってきてくれて、無事に引き渡すことができたそうです。「ほっとしました」と笑顔で話してくれました。

森脇亜由美さんは職場のボランティアサークルに入って以来、30年以上も活動しています。福祉施設で障害のある子どもたちと遊んだり、スポーツ活動のサポートなどを行ったりしているそうで、「子どもの頃、兄や姉が遊んでくれて嬉しかったので、今は『お返しの気持ち』で参加しています」。この日は車いすバスケットボールとボッチャの体験ブースを担当。参加希望者が途切れない人気ブースで、ボール拾いや審判など忙しく活動していました。

「スポーツが大好き」で、東京2020大会でも活動したという森脇さん。実は聴覚に障害があり、東京2020大会の時は、最初は不安もあったそうですが、視覚に障害のある人も参加しており、また自身も手話のできる人のサポートも受けながら、充実した活動ができたそうです。「障害者として特別視されるのでなく、『ボランティアの森脇』として、皆さんと一緒に活動できてうれしかったです。東京大会以降、障害のある人に対する周囲の見方も変わったようでうれしく感じています。こうした状況がもっと広がっていってほしいです」と語ってくれました。

そんな森脇さんをこの日、手話でサポートしていたのは福田ひろ枝さんです。数年前に東京マラソンで初めてスポーツ活動のボランティアに挑戦し、東京2020大会を経て、今回が3回目の活動でした。手話は7年前から学び始めたそうですが、この日初対面だった森脇さんもサポートしながら活動。「どれだけ役に立てているか分かりませんが、お互いに楽しく活動できればいいなと思います」と手話を交えて話す福田さんに、森脇さんは笑顔でうなずきながら、「ありがとう」を表す手話を何度も繰り返していました。

写真左：福田ひろ枝さん、写真右：森脇亜由美さん

初夏のさわやかな好天に恵まれたこの日、会場には多くの来場者が訪れ、どのブースもにぎわっていました。こちらで紹介したエピソードはほんの一部。今回参加したすべてのボランティアのみなさんにもきっと、それぞれの参加理由があり、それぞれの楽しさや達成感があったことでしょう。

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022　ホームページ
https://jbgf.jp/odaiba2022/

日本ビーチ文化振興協会（ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルフェスティバルお台場実行委員会 事務局）ホームページ
https://www.jbeach.jp/

＜心のバリアフリー＞

目　　的： **困ったときにすぐ声を掛けられ、手を差しのべ、手助けできる習慣作り**

近年のバリアフリーとは、ハード（街や施設の作り方）づくりに特化しておりましたが、心のバリアはまだ多分にあり、困ったときにすぐ声を掛けられるか、手を差しのべられるか、手助けをお願いできるか、ハードルが高いのが現状です。

ハンディキャップのある方々にとってビーチ・海は気軽に行ける場所ではなく、遠い存在にあります。

しかし、ビーチ・海は多くの恩恵を授けてくれて、誰もが恩恵を受ける権利があります。

道が無くても、例えば親や親友が同じ状況なら背負って一緒に行けるはず。

心地よいと感じるビーチ・海だからこそ、オープンな心で人と接することができる『心のバリアフリー』を作る最適な場所であることから素直に声を掛けられて、手を指し伸ばせる習慣を育むことです。

当協会ではビーチ・海に老若男女、ハンディキャップがある方、みんなが友達になれる場所としてビーチの活用を推進します。

実施内容： ・パラスポーツの体験プログラム

・ビーチスポーツへの参加

パラスポーツ「ボッチャ」

ステージ登壇・降壇の補助

ビーチテニス体験

ユニバーサルチーム「ParaCheer ShinySmiles」によるパフォーマンス

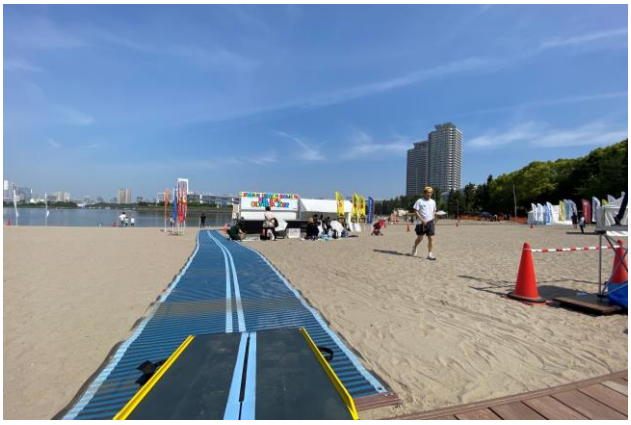
＜モビマットの設置＞

目　　的： **『ビーチバリアフリー』誰もが自然を楽しむことができる、バリアを超えるバリアフリーの在り方。**
自然のスポットはあるがままの自然を楽しむ場所です。年齢・障害の有無に関わらず、旅やレジャーの楽しみは「バリアを越えることを楽しむこと」でもあると言えます。バリアフリーはバリアを越える方法によっても実現できます。例えば、清水寺の舞台までの車いすも通れる道、富士山を登るための休憩の仕方、サポートの手配の方法など、バリアを取り除かなくてもバリアフリーにすることは出来るのです。
そして、砂の上にゴムマットをしくだけで、海に行くことができるのです。

主　　催： NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター

実施内容： 車いすの方やベビーカーの方も砂浜に降りれるよう砂浜にモビマットを設置

モビマットを設置



園路から砂浜に降りやすいようスロープを設置

車いすの方やベビーカーの方は自由にビーチを往来することができた

<会場の様子>

お台場海浜公園おだいばビーチ

ステージ

メイン看板

イベントスウィングバナー

総合受付テント

＜新型コロナウィルス感染症対策＞

インフォメーションにて検温を実施

手指消毒液、コロナ対策注意喚起POPを設置

検温を受けた来場者にリストバンドを配布し、着用している参加者が体験会に参加できます

＜開会セレモニー＞

参加団体との記念撮影

司会　小林 真美子

ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会
顧問　朝日 健太郎

ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会
顧問　師岡 文男

ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会
代表委員　遊佐 雅美

一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟
理事長　門脇 義徳

ビーチバレーボール講師　佐伯 美香
（ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会　顧問
オリンピアン元バレーボール・ビーチバレーボール選手）

ビーチバレーボール講師　浦田 聖子
(元バレーボール・ビーチバレーボール選手)

一般社団法人日本ビーチテニス連盟
柴山 葵

一般社団法人日本ビーチテニス連盟
酒井 晋平

ビーチサッカーチーム　レーヴェ横浜

一般社団法人日本フライングディスク協会
左）鈴木 誠司
右）須田 貴芳

一般社団法人日本フレスコボール協会
ディレクター　山下 祥

一般社団法人日スラックライン連盟
会長　小倉 一男

ステージでスラックラインを披露

一般社団法人日本テックボール協会
会長　早稲 昭範

テックボール日本代表　菅原 佳奈枝選手とともに
リフティングテクニックを披露

日本木球連盟
左）会長　新谷 崇一
右）上野 直樹

公益社団法人日本ボート協会コースタルローイング委員

一般社団法人東京都トライアスロン連合
会長　大村 真人

一般社団法人東京都トライアスロン連合
専務理事　川添 勝

一般社団法人日本モルック協会
嶋津 克彦

NPO法人日本ビーチ文化振興協会
代表理事　遊佐 雅美
（ライフセーバー）

中本 恵子
（ライフセーバー）

猪爪 賢史
（ライフセーバー）

ビーサン協会　会長　岩井 信之

ボディサクセス21
左）石坂 有紀子
中央）樋口 ますみ
右）たまきお姉さん

一般社団法人チアスピリット
代表　島田 若枝子

NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター
理事長 榊原 正博

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
「あすチャレ! メッセンジャー」根木 慎志
（車いすバスケット元日本代表キャプテン）

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
伊吹 祐輔

海上保安庁東京海上保安本部

＜大会・体験会の様子＞

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022
JBVシリーズ株式会社安田カップ

ビーチバレーボール体験会

JAPAN BEACH GAMES® Festivalお台場2022
ビーチテニス大会

ビーチテニス体験会

JAPAN BEACH GAMES® Festival フレスコボール
オダイバカップ2022

フレスコボール体験会

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022
第3回GIBBON BEACH GAMES
TOKYO ODAIBA BEACH SLACKLINES

スラックライン体験会

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022
ビーチウッドボール大村杯

表彰式

ビーチテックボール大会 in JBG®Fお台場2022

テックボール体験会

JBG®F2022お台場ビーチアクアスロン

フライングディスク体験会

オールスタービーチフラッグス大会

ビーチフラッグス体験会

海辺の安全教室

ビーサン跳ばし選手権

ビーチde太鼓

ビーチdeリボン体操

コースタルローイング

ビーチモルック体験会

車いすバスケットボール体験会

ボッチャ体験会

ビーチチア＆ダンスコンテストJBG®Fお台場2022

ビーチヨガ

お笑いライブ（ゲスト：ありんくりん）

ブルービーチプロジェクト　ビーチクリーン

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト
千葉市政令指定都市移行30周年
ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル
千葉2022

＜実施概要＞

コンセプト：『千葉市をビーチスポーツのメッカに！』
ビーチスポーツを活用した千葉市元気向上プロジェクト！いなげの浜から全国にビーチライフを発信しよう。

千葉市が誇る都市型ビーチにおいて、ビーチスポーツの観戦・体験ができるイベントを開催することにより、スポーツの振興、海辺の活性化、千葉市におけるビーチ文化の振興を目的とします。また、継続的な取り組みにより地元市民がビーチを訪れ、砂浜を楽しむ習慣が創出されることを目指します。

主　　催：ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会

後　　援：国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、千葉県

協　　賛：東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、千葉市職員労働組合、株式会社ベイエフエム、株式会社ワールドパーク

開 催 日：2022年10月22日(土)、23日(日)

会　　場：稲毛海浜公園いなげの浜（千葉県千葉市）

天　　候：＜10月22日(土)＞

・天気　くもり

・気温　最低気温15.7℃／最高気温22.8℃

＜10月23日(日)＞

・天気　晴れ

・気温　最低気温14.9℃／最高気温23.6℃

プログラム

種 目 数　：16競技、環境教室、海辺の安全教室

周辺動員数：延べ10,000人（22日　4,000人、23日　6,000人）

＜実行委員会組織体制図＞

顧　問　：

	氏名	現職
名誉顧問	熊谷　俊人	千葉県知事
特別顧問	神谷　俊一	千葉市長
	朝日　健太郎	参議院議員／ビーチゲームズ日本招致プロジェクトナビゲーター
顧　問	師岡　文男	上智大学名誉教授/前スポーツ庁参与
	大塚　眞一郎	公益社団法人日本トライアスロン連合　専務理事
	稲生　勝義	千葉市役所市民局 局長
	神田　稔	千葉市役所市民局生活文化スポーツ部 部長
	小川　直哉	公益財団法人千葉市スポーツ協会　会長
	久保　健	株式会社ベイエフエム 代表取締役社長
	中川　晴美	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 千葉支社長

実行委員会：

役割	氏名	現職
代表委員	遊佐　雅美	NPO法人日本ビーチ文化振興協会 理事
副代表委員	吉澤　裕子	NPO法人日本ビーチ文化振興協会 副会長・業務統括本部長
委　員	内谷　靖	千葉市役所スポーツ振興課 課長
	野ケ峯　英起	公益財団法人千葉市スポーツ協会　事務局補佐
	鳥海　浩幸	株式会社ベイエフエム　取締役　本社営業局長
	和田　充弘	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 事業部長
	門脇　義徳	一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟 理事長
	大住　寛	一般社団法人日本ビーチテニス連盟 普及委員長
監　事	松本　吉立	NPO法人日本ビーチ文化振興協会 経理

運営部委員会：

役割	氏名	現職
事務局長	吉澤　頌平	NPO法人日本ビーチ文化振興協会
事務局長補助	相原　一隆	NPO法人日本ビーチ文化振興協会
運営部	堀越　大樹	千葉市役所市民局生活文化スポーツ部 スポーツ振興課スポーツ振興班
	田口　優一	
	坂本　愉喜雄	旧幕張ビーチフェス実行委員会
	門脇　義徳	一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟　理事長
	大住　寛	一般社団法人日本ビーチテニス連盟　普及委員長
	金子　一博	一般財団法人日本ビーチサッカー連盟　理事
	小倉　一男	一般社団法人日本スラックライン連盟　会長
	山下　祥	一般社団法人日本フレスコボール協会　ディレクター
	齋藤　勇太	一般社団法人日本フライングディスク協会　専務理事
	小室　博之	一般社団法人千葉県トライアスロン連合　理事長
	新谷　崇一	日本木球連盟　会長
	早稲　昭範	日本テックボール協会　代表理事
	八木　陽介	公益社団法人日本ボート協会コースタルローイング委員長
	遊佐　雅美	NPO法人日本ビーチ文化振興協会　理事
	岩井　信之	ビーサン協会　会長
	石坂　有紀子	ボディサクセス21　代表取締役
	島田　若枝子	一般社団法人チアスピリット　理事
	堀田　健太郎	一般社団法人日本モルック協会
	今村　翔	ラウンドネット東京　代表
	榊原　正博	特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーセンター　理事長

役割	氏名	現職
広報部	吉澤　頌平	NPO法人日本ビーチ文化振興協会
総務部	相原　一隆	NPO法人日本ビーチ文化振興協会
経理部	松本　吉立	NPO法人日本ビーチ文化振興協会

周辺動員数：延べ10,000人

・10月22日(土)　4,000人

・10月23日(日)　6,000人

一般体験者数：

団体名	10月22日	10月23日	TOTAL
ビーチウッドボール	100	200	**300**
コースタルローイング	55	125	**180**
スラックライン	180	310	**490**
テックバレーボール	30	80	**110**
ビーチテニス		360	**360**
トライアスロン（時間帯別参加者数 メール有※10/24）	216		**216**
ビーチバレーボール	20	46	**66**
ビーチフラッグス＆安全教室	100	120	**220**
フライングディスク	270	320	**590**
フレスコボール	271	382	**653**
ビーチモルック	100	300	**400**
ラウンドネット	10	150	**160**
ビーチサッカー	40	120	**160**
ビーサン跳ばし（大男：30 大女：26 子：45 ）		101	**101**
ビーチリトミック（10/22内ストレッチ20名）	120	30	**150**
環境教室	30	35	**65**
TOTAL	**1542**	**2679**	**4221**

大会出場者数：

大会名	女子参加人数	男子参加人数	チーム参加人数	TOTAL
ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022 JBVチャレンジャーシリーズ2022千葉大会	34	36		**70**
JAPAN BEACH GAMES® Festival千葉2022 ビーチテニス千葉大会	24	24		**48**
千葉市Vamosカップ U-12交流戦			57	**57**
JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA フレスコボールジャパンオープン2022			160	**160**
[GIBBON CUP 2022] Chiba Inage BEACH SLACKLINES			29	**29**
ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022 ビーチウッドボール自治会大会			24	**24**
ビーチテックバレーボール大会 in JBG®F千葉2022			20	**20**
ビーチモルック大会in稲毛海岸			22	**22**
第1回ラウンドネット INAGE CUP JBG®F CHIBA2022			26	**26**
ビーチチア＆ダンスコンテストJBG®F千葉2022			112	**112**
TOTAL	**58**	**60**	**450**	**568**

＜PR制作物　ポスター＞

印 刷 部 数 ： B1ポスター　7部

配　布　先　： B2ポスター　400部（千葉市各区役所、図書館、公民館、スポーツ施設、観光施設、他）

＜PR制作物　事前配布チラシ＞

印 刷 部 数 ： 70,000部

配　布　先　： 千葉市内小中学校　全164校

＜PR制作物　当日配布うちわ＞

印 刷 部 数 ： 3000部

<テレビ取材>

放 送 日 ： 10月10日（月・祝）　12:30～13:00
番 組 名 ： J:COM「LIVEニュース」
出 演 者 ： 有吉　徳斗（一般社団法人日本フレスコボール協会　ディレクター）
新城　悠也（フレスコボール日本代表選手）
古川　元樹（フレスコボール選手　公式ランキング男子３位）

<掲載記事>

【PR TIMES】

U　R　L　： https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000087807.html

PRTIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

【日本最大級ビーチスポーツの祭典！】『千葉市政令指定都市移行30周年JAPAN BEACH　GAMES® Festival CHIBA 2022』を開催します！

10月22日（土）／23日（日）「稲毛海浜公園いなげの浜」に全国から全16種類のビーチ・マリンスポーツが集結します！

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

2022年9月26日 18時40分

ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会（事務局：NPO法人日本ビーチ文化振興協会）は、10月22日（日）／23日（日）の2日間、稲毛海浜公園いなげの浜(千葉県千葉市)にてビーチゲームズ日本招致プロジェクト『JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA 2022（ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022）』を開催いたします。
本イベントは、2008年（インドネシア・バリ）から2年（2016年から4年毎に改正）に一度開催されているビーチスポーツ・マリンスポーツ・ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」（アジアオリンピック評議会主催）、2019年（ドーハ）開催され、2023年（バリ）に開催を予定している「ワールドビーチゲームズ」（国内オリンピック委員会連合主催）　を日本に招致する啓発活動の一環として、各種ビーチ・マリンスポーツの公式戦を集結したイベントです。

JBG JAPAN BEACH GAMES®
オフィシャル

本イベントは、「千葉市政令指定都市移行30周年」として、2020年に開催以降(2021年はコロナウィルス感染拡大の為、中止)2年ぶりの開催となります。「『千葉市をビーチスポーツのメッカに！』ビーチスポーツを活用した千葉市元気向上プロジェクト！いなげの浜から全国にビーチライフを発信しよう。」を開催コンセプトとし、千葉市が誇る都市型ビーチにおいて、ビーチスポーツの観戦・体験ができるイベントを開催することにより、スポーツの振興、海辺の活性化、千葉市におけるビーチ文化の振興を目的とします。また、継続的な取り組みにより地元市民がビーチを訪れ、砂浜を楽しむ習慣が創出されることも同時に目指します。

今年の参加競技団体数は、前回開催時より大幅に増え【16種類】のビーチ・マリンスポーツがいなげの浜に集結します。「ソーシャルディスタンススポーツ」として話題を呼んだ「フレスコボール」では、本場ブラジルで開催される選手権の出場枠を決める大会が開催され、近年「エクストリームスポーツ」として人気絶頂の「スラックライン」や国内トップ選手が集う「ビーチテニス」等の白熱した試合を間近で観戦・体験する事が出来ます。その他、話題沸騰中の競技「モルック」や「ラウンドネット」、老若男女だれでもが楽しむことのできる「ビーサン跳ばし」といった競技も無料で体験が出来ます。「ビーチウッドボール」では、地元自治会大会が開催され、地域一体となった日本最大級のビーチ・マリンスポーツの大型イベントとなります。

【朝日新聞デジタル】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://www.asahi.com/and/pressrelease/423044279/

PRESS RELEASE

※配信会社から提供された企業や団体等のプレスリリースを原文のまま掲載しており、朝日新聞社が取材・執筆した記事ではありません。お問い合わせは、各情報配信元にお願いいたします。

【日本最大級ビーチスポーツの祭典！】『千葉市政令指定都市移行30周年JAPAN BEACH　GAMES(R) Festival CHIBA 2022』を開催します！

配信元：PRTIMES　2022.09.26

10月22日（土）／23日（日）「稲毛海浜公園いなげの浜」に全国から全16種類のビーチ・マリンスポーツが集結します！

ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会（事務局：NPO法人日本ビーチ文化振興協会）は、10月22日（日）／23日（日）の2日間、稲毛海浜公園いなげの浜(千葉県千葉市)にてビーチゲームズ日本招致プロジェクト　『JAPAN BEACH GAMES(R) Festival CHIBA 2022（ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022）』を開催いたします。
本イベントは、2008年（インドネシア・バリ）から2年（2016年から4年毎に改正）に一度開催されているビーチスポーツ・マリンスポーツ・ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」（アジアオリンピック評議会主催）、2019年（ドーハ）開催され、2023年（バリ）に開催を予定している「ワールドビーチゲームズ」（国内オリンピック委員会連合主催）　を日本に招致する啓発活動の一環として、各種ビーチ・マリンスポーツの公式戦を集結したイベントです。

JBG オフィシャル
JAPAN BEACH GAMES®

本イベントは、「千葉市政令指定都市移行30周年」として、2020年に開催以降(2021年はコロナウィルス感染拡大の為、中止)2年ぶりの開催となります。「『千葉市をビーチスポーツのメッカに！』ビーチスポーツを活用した千葉市元気向上プロジェクト！いなげの浜から全国にビーチライフを発信しよう。」を開催コンセプトとし、千葉市が誇る都市型ビーチにおいて、ビーチスポーツの観戦・体験ができるイベントを開催することにより、スポーツの振興、海辺の活性化、千葉市におけるビーチ文化の振興を目的とします。また、継続的な取り組みにより地元市民がビーチを訪れ、砂浜を楽しむ習慣が創出されることも同時に目指します。

今年の参加競技団体数は、前回開催時より大幅に増え【16種類】のビーチ・マリンスポーツがいなげの浜に集結します。「ソーシャルディスタンススポーツ」として話題を呼んだ「フレスコボール」では、本場ブラジルで開催される選手権の出場枠を決める大会が開催され、近年「エクストリームスポーツ」として人気絶頂の「スラックライン」や国内トップ選手が集う「ビーチテニス」等の白熱した試合を間近で観戦・体験する事が出来ます。その他、話題沸騰中の競技「モルック」や「ラウンドネット」、老若男女だれでもが楽しむことのできる「ビーサン跳ばし」といった競技も無料で体験が出来ます。「ビーチウッドボール」では、地元自治会大会が開催され、地域一体となった日本最大級のビーチ・マリンスポーツの大型イベントとなります。

【radiko news】

U　R　L　： https://news.radiko.jp/article/station/BAYFM78/76323/

ビーチスポーツの祭典「ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022」をご紹介！

2022.09.27 up　情報／ワイドショー　音楽　ドキュメンタリー／教養　趣味／教育　スポーツ

提供：bayfm78

©bayfm

毎週日曜日、朝8時からbayfmで放送されている『BAY MORNING GLORY』。DJ神田れいみが、休日の朝にピッタリな音楽とともに千葉市の情報をお届けしています。

10月2日（日）の放送では、千葉市の稲毛海浜公園いなげの浜で10月22日と23日に開催されるビーチスポーツの祭典「ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022」をご紹介！

実行委員会の委員で「一般社団法人日本ビーチテニス連盟普及委員長」の大住寛さんにビーチスポーツの魅力やイベントの楽しみ方など伺います。

ビーチテニスといえば今年7月の放送で実際に、いなげの浜でプレーを体験した神田さん、この時は強風に悪戦苦闘しながらの取材でしたが、ビーチで体を動かす楽しさを実感していましたよ。

2年ぶりにいなげの浜で開催される「ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022」、ぜひ番組で情報をチェックしてくださいね！

BAY MORNING GLORY

放送局：bayfm78
放送日時：毎週日曜 8時00分～8時55分
出演者：神田れいみ、大崎裕太

番組ホームページ
公式Facebook

【Walker plus】

U　R　L　：https://www.walkerplus.com/event/ar0312e446624/

Walkerplus 知りたい！行きたい！をかなえるニュースメディア　ニュース・連載

関東 | 千葉県 千葉市 船橋市 柏市 | 東京都 | 神奈川県 横浜市 | 埼玉県 | 群馬県 | 栃木県 | 茨城県 | その他

ウォーカープラス > イベント > 関東のイベント > 千葉県のイベント > JAPAN BEACH GAMES(R) Festi

JAPAN BEACH GAMES(R) Festival CHIBA 2022

開催期間　2022年10月22日(土)・23日(日)

開催時間　9:45～17:00

場所　関東　千葉県　稲毛海浜公園いなげの浜

トップ | 詳細データ | 料金 | 地図 | その他のイベント

※イベントが中止・延期になっている場合があります。また、イベントの開催時間や施設の営業時間等が変更されている場合があります。ご利用の際は事前にご確認のうえ、おでかけください。

家族や友達とビーチ・スポーツを観戦して体験できる
画像提供：ジャパンビーチゲームズフェティバル千葉実行委員会

ビーチ・マリンスポーツがいなげの浜に集結

千葉市が誇る都市型ビーチ「いなげの浜」において、ビーチスポーツの魅力を存分に堪能できる日本最大級のビーチスポーツの祭典が開催。今年のビーチ・マリンスポーツの参加競技団体数は、前回開催時より大幅に増え計16種類。10月22日(土)・23日(日)の2日間にわたり、2023年にパリで開催予定の「ワールドビーチゲームズ」の日本招致啓発活動の一環として、白熱の各種公式戦を間近で観戦できるほか、話題のビーチ・マリンスポーツを無料で体験することもできる。真っ白い砂浜の上で思いっきり体を動かして、スポーツの秋を満喫しよう。

見どころ

会場では、ソーシャルディスタンススポーツとして話題を呼んだ「フレスコボール」をはじめ、エクストリームスポーツとして人気絶頂の「スラックライン」、「ビーチテニス」、「ビーチバレーボール」など9競技の公式戦を観戦できる。また、話題沸騰中の「モルック」や「ラウンドネット」、新スタイルのボート競技「コースタルローイング」、老若男女誰でも楽しめる「ビーサン跳ばし」なども無料で体験できる。

【Event Greenfield】

U　R　L　： https://event.greenfield.style/event/19172

【日刊 建設工業新聞】

発 行 日 ： 10月26日(水)

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

日刊 建設工業新聞

2022年（令和4年）
10月26日（水）
第20483号

記事 電話03－3433－7161 mail-ed@decn.co.jp　購読 電話03－3433－7152 mail-sa@decn.co.jp　広告 電話03－3433－7154 eigyo@decn.co.jp

回転窓

海辺とスポーツの活性化を目的としているジャパンビーチゲームズのイベントが先週末、千葉市の稲毛海浜公園で行われた▼ラケットでボールを打ち合うフレスコボールやビーチサッカーなどが楽しめるとあって、大勢の人たちが来場。フレスコボールの選手が圧巻のパフォーマンスで観客を魅了し、ビーチサッカーでは元日本代表が子どもたちと一緒にコートを駆けた。多くの飲食店や物販店も集まり、来場者はにぎやかな休日を過ごしたようだ▼会場は宅地整備で出た大量の土砂を盛って造られた人工海浜。波浪や強風で浜がやせてしまうため、砂を入れ替える定期改修に合わせて、市がオーストラリア産の砂を敷いた▼この砂は石英（二酸化ケイ素）の純度が高く、真っ白でさらさらした肌触りが特徴。一方で高価なのに加え、白い砂浜を維持するのにかき混ぜ作業も必要となる。にぎわいを創出する取り組みだが、２０１９年度の改修時は無駄遣いとの批判もあったという▼四季を通じて海辺に親しむビーチ文化の形成などに、砂浜は大切な役割を果たす。イベントの盛況ぶりを見ると、先行投資の効果は着実に出ている。

＜モビマットの設置＞

目　　的： **『ビーチバリアフリー』誰もが自然を楽しむことができる、バリアを超えるバリアフリーの在り方。**
自然のスポットはあるがままの自然を楽しむ場所です。年齢・障害の有無に関わらず、旅やレジャーの楽しみは「バリアを越えることを楽しむこと」でもあると言えます。バリアフリーはバリアを越える方法によっても実現できます。例えば、清水寺の舞台までの車いすも通れる道、富士山を登るための休憩の仕方、サポートの手配の方法など、バリアを取り除かなくてもバリアフリーにすることは出来るのです。
そして、砂の上にゴムマットをしくだけで、海に行くことができるのです。

主　　催： NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター

実施内容： ・車いすの方やベビーカーの方も砂浜に降りれるよう砂浜にモビマットを設置
・砂浜、水辺専用車いす

モビマットを広域に敷き、車いすやベビーカーが利用しやすいようにしました

小さい子どもを連れた家族も多く、ベビーカーを押しながら広範囲にわたって砂浜を行き来していた

ブースでは、砂浜や海にも対応できる車いすを展示

＜日本財団ボランティアセンター　ボランティア活動＞

活 動 日 ： 10月22日(土)、23日(日)　2日間

参加人数 ： 40名（10月22日　18人、10月23日　22人）

活動内容 ： ・各競技団体が実施する試合や体験の運営サポート
・来場者対応
・ビーチクリーン

参加ボランティアの方へ全体の動きを説明

ボランティア活動の様子

親子で参加された親子。来場者へ対応

総合受付でリストバンドを配布

会場について案内したり、ビーチクリーンバッグを来場者へ配布するサポートをいただきました

＜開会セレモニー＞

記念撮影

オープニングアクト　ビーチチア＆ダンスコンテスト
優勝チーム「Blue wish」

司会　柴田 幸子

ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会
代表委員　遊佐 雅美

ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会
特別顧問　神谷 俊一 千葉市長

ビーチゲームズ日本招致プロジェクトナビゲーター
朝日 健太郎
（ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会　特別顧問）

ビーチゲームズ日本招致プロジェクトナビゲーター
浅尾 美和

一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟
左）門脇 義徳
中央）ビーチバレーボール講師　佐伯 美香
右）ビーチバレーボール講師　浦田 聖子

一般社団法人日本ビーチテニス連盟
左）大住 寛
右）柴山 葵　選手

一般社団法人日本スラックライン連盟
佐々木 燈 選手

一般社団法人日本フレスコボール協会
山下 祥

一般社団法人千葉県トライアスロン連合
伊藤 あずさ

一般社団法人日本フライングディスク協会
鈴木 誠司

一般財団法人日本ビーチサッカー連盟
角谷 剛

一般社団法人日本テックボール協会
早稲 昭範

日本木球連盟
左）新谷 崇一
右）上野 直樹

公益社団法人日本ボート協会コースタルローイング

左）NPO法人日本ビーチ文化振興協会
遊佐 雅美（ライフセーバー）
右）中川 恵子（ライフセーバー）

ビーサン協会
岩井 信之

ボディサクセス21
左）石坂 有紀子
中央）樋口 ますみ
右）樋口 知希

一般社団法人日本モルック協会
左）神保 匡
右）堀田 健太郎

一般社団法人チアスピリット
大石 風香

ラウンドネット東京
右）今村 翔
左）今村 理沙

NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター
理事長 榊原 正博

開会宣言
スラックライン選手
左）中村 陸人
右）岡崎 恋

hy4_4yh（ハイパーヨーヨ）
左）ゆかりん
右）ちゃんちゃら

＜大会・体験会の様子＞

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022
JBVチャレンジャーシリーズ2022千葉大会

ビーチバレーボール体験会

JAPAN BEACH GAMES® Festival千葉2022
ビーチテニス千葉大会

ビーチテニス体験会

千葉市VamosカップU-12交流戦

ビーチサッカー体験会

JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA
フレスコボールジャパンオープン2022

フレスコボール体験会

[GIBBON CUP 2022] Chiba Inage
BEACH SLACKLINES

スラックライン体験会

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022
ビーチウッドボール自治会大会

ビーチウッドボール体験会

ビーチテックバレーボール大会 in JBG®F千葉2022

ビーチテックバレーボール体験会

トライアスロン体験会

フライングディスク体験会

海辺の安全教室

オールスタービーチフラッグス大会

ビーチフラッグス体験会

ビーサン跳ばし大会by実行委員会

ビーサン跳ばし選手権大会

ビーチde太鼓

ビーチdeリボン体操

コースタルローイング体験会

ビーチdeストレッチ

ビーチモルック大会in稲毛海岸

ビーチモルック体験会

第1回ラウンドネット INAGE CUP
JBG®F CHIBA2022

ラウンドネット体験会

ビーチチア＆ダンスコンテストJBG®F千葉2022

環境教室

【KEIYO TEAM6　オービックシーガルズ】
アメリカンフットボール体験の様子

【KEIYO TEAM6　千葉ゼルバ】
バレーボール体験の様子

hy4_4yh（ハイパーヨーヨ）　ライブ

BEACH BAR

里浜づくり・ビーチライフ啓発事業

『里浜づくり推進活動』とは

「里浜づくり」は、国土交通省が取り組みを進めている事業で、地域の自然と歴史を尊重し、海辺と人々とのつながりを見つめ直すことから始まる活動です。各地域の状況や海辺と人々とのつながりの濃淡、取組む内容等により、活動の進め方も違い、また同じ地域でも時代によっても変化していくものです。したがって、決まった進め方やモデルはありません。その土地に見合った活動を行うのが「里浜づくり」の難しいところであり、そして醍醐味となっています。

＜里浜づくりの進め方＞

①地元の方を中心に「問題の発見」、「目指すべき里浜像の検討」などを話し合い、提言を行う

【開催実績例】

・「元気な鹿嶋はビーチから」海辺活用シンポジウム（茨城県鹿嶋市）
・新潟港海岸 利用促進検討委員会（新潟県新潟市）
・海辺空間整備方策検討委員会（鹿児島県指宿市）

②里浜像を実現する手段を考え・実践する

単に問題解決のためだけに活動するのではなく、ビーチ資源を活用し、一年を通じて、ビーチを満喫する。そんな楽しい海辺文化を「ビーチライフ」と呼んでいます。楽しい「ビーチライフ」を通じて、その土地に見合った里浜づくりを展開することが「ビーチライフ」の真の目的です。

【ビーチライフシリーズ】

・ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦（2006年～）
・ビーチライフin新舞子（2006年～）
・ビーチライフIN新潟（2007年～）
・ビーチライフin北九州（2009年～）
・ビーチライフin呉（2009年～）
・ビーチライフin柏崎（2013年～）
・ビーチライフin東扇島（2018年～）

【フェスティバル・競技大会等】

・別府ポートフェスタ（2010年～）
・ビーチスポーツフェスティバルin京丹後（2014年～）
・酒田ビッグビーチフェスタ（2015年～）
・鹿嶋シーサイドビーチラン（2016年～）
・須磨ビーチフェスタ（2017年～）
※その他、全国各地で開催

＜第14回ビーチライフIN新潟　実施概要＞

目　　的： 日本海沿岸でも、四季を通じて海辺を楽しむことのできる通年利用の機運を根付かせるため、平成19年10月13日、社会実験として新潟港西海岸地区において『第1回ビーチライフIN新潟』が開催されました。このような海岸を利用したイベントが今後も継続して運営され、新潟市民が新潟港西海岸をレクリエーション活動の一つの場として更に活用し、新潟市民の心の故郷となり愛される海岸となることを目的としています。

開催日： 2022年7月31日（日）9:00～16:00

場　　所： 日和山浜海水浴場（新潟県新潟市）

天　　候： 晴れ（最低気温24℃／最高気温34.2℃）

主　　催： ビーチライフIN新潟実行委員会

プログラム：
- **ビーチテニス大会･体験会**
- **ビーチサッカー大会･クリニック**
- **ビーチフラッグス大会**
- **こども海辺アドベンチャー**
- **タヒチアンダンス**
- **飲食ブース**

チラシ：

＜活動の様子＞

ビーチテニス

ビーチサッカー

こどもい海辺アドベンチャー

タヒチアンダンス

ビーチクリーン

ライフジャケット無料貸出し

＜第49回川崎みなと祭り「はだし運動会」 実施概要＞

目　　的： 東扇島東公園のかわさきの浜は、おだやかな入り江で景観も素晴らしく、まさに川崎市の資源の宝庫。浜、緑、広さ、景観、そして首都圏の災害発生時には内閣府が所管する防災拠点施設として、緊急輸送物資の中継拠点等の役割を担う事を再認識する良い機会でもあります。この貴重な浜を地元の子ども達にもっと知ってもらいたい、そしてこの浜が心のオアシスとなるよう育みたい、そのような願いから「はだし運動会」を企画しました。はだしになれる環境も少なくなり、靴を脱いで遊べる貴重な浜が川崎市にあることは、おおいに活かすべきです。はだしになることで人間回帰できる体感を堪能し、そして「また、かわさきの浜ではだしになろう！」と心に刻む機会となるよう期待します。愛郷心が希薄している昨今、自慢できる地元を心に持てるよう、かわさきの浜を活用し元気な青少年育成に寄与します。

開　催　日： 2022年10月8日（土）13:30～15:30
場　　所： 東扇島東公園かわさきの浜（神奈川県川崎市）
天　　候： 曇り（最低気温12.9℃／最高気温21℃）
主　　催： 第49回川崎みなと祭り実行委員会
運営・協力： NPO法人日本ビーチ文化振興協会、ビーサン協会
参加動員数： 150人
プログラム： **●ブルービーチプロジェクト ビーチクリーン**

●はだし運動会
種目：ビーサン跳ばし、麻袋リレー、レスキューレース

●抽選会

＜活動の様子＞

受付の様子

チームに分かれて作戦会議

ビーサン跳ばし

麻袋リレー

ポイントを獲ったリストバンドで

レスキューレース

優勝チームに金メダルを贈呈

参加した子どもたちと記念撮影

<ビーチライフin伊予　実施概要>

目　　的： 海・ビーチの活用に適した温暖な環境にある愛媛県は、ビーチバレーボールを中心としてビーチが盛んであり、この活用を通年において次世代に繋ぐ活動として強化してゆくには、スポーツが苦手な方でも、誰でも楽しめる機会を多く作り、また、この趣旨に基づいた横の繋がり（ネットワーク）を強化することが必要であります。
伊予市の資源であるビーチを活用し、スポーツ団体を中心とした横の繋がりを強化して、様々なビーチスポーツを普及し健康的に元気よく『心が豊かな暮らし』に繋げる事を目的とします。

開　催　日： 2022年10月9日（日）8：00～16：00

場　　所： 五色姫海浜公園　五色浜海岸（愛媛県伊予市）

主　　催： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

協　　力： 愛媛県ビーチバレーボール連盟、B-SPORT EHIME(ビーチバレー）、
一般社団法人日本ビーチテニス連盟／日本代表　本間江梨・大塚絵梨奈、
一般社団法人日本モルック協会／今治モルッククラブレッドゴリラーズ・
久万高原　山と森とモルック、
一般社団法人日本フレスコボール協会／しまなみフレスコボールクラブ　、
川口ひらり(ビーチヨガ）、HULAPICNIC実行委員会、海と日本プロジェクトinえひめ

協　　賛： 株式会社ダイキアクシス

周辺動員数： 300人

プログラム：
- **ビーチバレーボール（B-sportビーチバレーボール大会・体験会）**
- **ビーチテニス（体験会）**
- **フレスコボール（体験会）**
- **ビーチモルック（体験会）**
- **ビーチヨガ（体験会※一部有料）**
- **ブルービーチプロジェクト「ビーチクリーン」**
- **フラダンス（開会セレモニーイベント）**
- **開会セレモニー**

＜事前配布チラシ＞

印 刷 部 数 ： 3500部

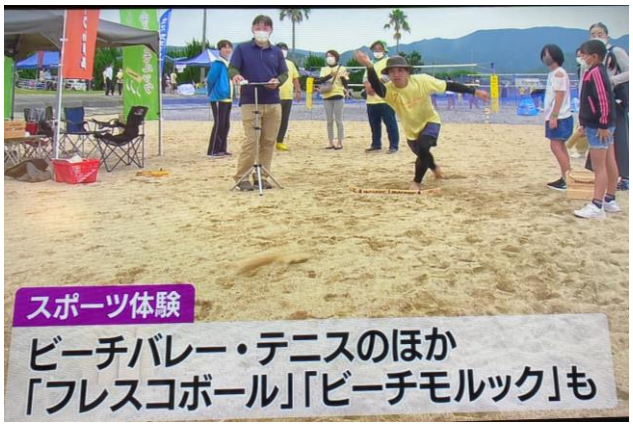
配　布　先　： 伊予市内小学校9校
（南山崎小学校、北山崎小学校、郡中小学校、伊予小学校、中山小学校、佐礼谷小学校、下灘小学校、由並小学校、翠小学校）
伊予市内中学校4校
（港南中学校、伊予中学校、中山中学校、双海中学校）
伊予市役所、他

主催：NPO法人日本ビーチ文化振興協会／後援：伊予市

<テレビ取材>

放　送　日　： 10月9日(日)

放　送　局　： テレビ愛媛



<掲載記事>

新　聞　社　： 愛媛新聞

発　行　日　： 10月10日(月･祝)

（第3種郵便物認可）

愛　媛　新　聞

秋のビーチいい汗

伊予市 スポーツ体験会に300人

ビーチスポーツを楽しむ体験会が9日、伊予市尾崎の五色姫海浜公園であり、家族連れら約300人がビーチバレーやビーチテニスなど6種目に挑戦した。

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（東京）主催。協会は約20年前から全国でビーチスポーツ普及に努めており、ビーチバレー元五輪代表の佐伯美香さん(51)＝松山市出身＝が今年、代表理事に就任したことから四国で初開催した。

棒を投げて数m先の木のピンを倒し、点数を競うフィンランド発祥の「モルック」体験では、参加者は投げる力加減と、砂で不安定な足場に苦戦。狙い通りに当たり高得点が出ると「やった」と大喜びしていた。

高松市から訪れた栗林小5年の西内統祐君(10)は家族で挑戦。「難しかったけど、当たると気持ちよかった」と笑顔を見せた。

佐伯さんは、ビーチスポーツでは砂や暑さ、風など自然との触れ合いも「戦いの一つ」とし「より多くの人に競技の楽しさを知ってもらい、笑顔あふれる浜辺にしたい」と話した。（森満里子）

体験会で「フレスコボール」を楽しむ参加者＝9日午前、伊予市尾崎

発　行　元　： 伊予市「広報いよし　11月号」

大平にこにこ食堂　弁当で地域に笑顔を届けたい

10月1日、大平地区公民館で「にこにこ食堂」が行われました。
みんなが安心して笑顔で触れ合える居場所づくりを目指す同イベント。子どもや学生には無料で弁当がふるまわれました。おいしいご飯が食べられ、園児や児童の温もりある作品を鑑賞できる食堂には、たくさんの笑顔があふれていました。

私の地元応援募金 明治安田生命保険相互会社　ご寄附ありがとうございました

10月3日、明治安田生命保険相互会社より「私の地元応援募金」として令和2年から3年続けて寄附金をいただき、市から感謝状を贈呈しました。
この寄附金は、地域にゆかりのある同社従業員の地元への思いを込めた募金に、同社からの寄附金を併せて贈られたものです。寄附金は、健康づくりや暮らしの充実に向けて活用させていただきます。

ビーチライフin伊予　ビーチは夏だけのものじゃない

10月9日、五色姫海浜公園で「ビーチライフin伊予」が行われました。
同イベントは、ビーチスポーツで健康的に元気よく「心が豊かな暮らし」を目指し、初めて開催されました。参加者は、開放的な空間と砂の感触を楽しみながら、テニスやバレー、モルックなどビーチでも楽しめるスポーツを体験し、その魅力を体感していました。

佐礼谷スポーツ少年団が県大会で準優勝　チーム結成初の四国大会出場へ

6月12・19日に行われた「第42回全日本バレーボール小学生大会愛媛県大会」で佐礼谷スポーツ少年団男子チームが準優勝しました。
同チームは、全ての試合をフルセットで戦い抜き準優勝。創部11年目にして10月23日開催の四国大会出場を勝ち取りました。主将の宮本禮玄さんは「決勝戦はもう少しで勝てる試合でした。四国大会では、しっかりと勝って優勝したいです」と意気込みを話してくれました。

＜活動の様子＞

開会セレモニー

ビースポルトえひめ主催　ビーチバレーボール大会

ビーチテニス体験会

フレスコボール体験会

ビーチモルック体験会

ビーチヨガ

フラダンス

ブルービーチプロジェクト　ビーチクリーン

＜はだしになろう　親子でビーチスポーツレク　実施概要＞

目　　的： 多種、多目的なビーチスポーツは、競技種目としてはもちろん、レクリエーションとしてもいつでも誰でも楽しめることができるスポーツである。ビーチという、日常とは違った開放的な自然環境の中でスポーツをすることにより、スポーツを楽しみ、スポーツに関心を持ち、心身のバランスのとれた健康づくりに役立てることを目的とする。

開　催　日： 2022年10月15日（土）10:00～12:00

場　　所： お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

主　　催： 公益財団法人杉並区スポーツ振興財団

協　　力： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

周辺動員数： 50人

プログラム：
- **ビーチクリーン**
- **ビーサン跳ばし大会**
- **ビーチ麻袋競争**
- **おんぶ徒競走**
- **表彰式**

事前配布チラシ：

＜活動の様子＞

ビーチクリーン

ビーサン跳ばし大会

ビーチ麻袋競争

おんぶ徒競走

表彰式

参加者と記念撮影

<ビーチライフin柏崎　実施概要>

目　　的： 新潟県日本海の海は、冬の季節が長く活用できる期間が限られているが、
素晴らしい砂質と景観、水質は誇るべき資源である。
この海・ビーチを次世代に向けて、愛郷心の育みと共により健康的にビーチを活用し、
賑わいのある空間を継承するために、子ども中心の活用に努める。

開　催　日： 2022年10月16日（日）　9:00～16:00

場　　所： 東の輪海水浴場（新潟県柏崎市）

主　　催： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

協　　力： 新潟県ドッジボール協会、柏崎ライフセービングクラブ

周辺動員数： 100人

プログラム：
- **ビーチドッジボール体験会**
- **ビーチフラッグス**
- **海辺の安全教室**
- **ブルービーチプロジェクト「ビーチクリーン」**

事前配布チラシ：

＜活動の様子＞

開会式

参加者と記念撮影

ブルービーチプロジェクト　ビーチクリーン

海辺の安全教室

ビーチフラッグス大会

ビーチドッジボール大会

<ビーチライフin須磨2022　実施概要>

目　　的： ○夏の海水浴だけでなく、四季を通じて地域住民がビーチを利用し、ヘルスアップ、青少年育成、憩いの場として活用する。
○ビーチ・マリンスポーツの啓発、活用による観光誘致促進
○海・海辺の自然環境を保護する。

開 催 日： 2022年11月6日（日）　9:00～16:00

場　　所： 須磨海岸（兵庫県神戸市）

主　　催： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

後　　援： 国土交通省近畿地方整備局、神戸市

協　　賛： 一般財団法人みなと総合研究財団、株式会社日本港湾コンサルタント、
株式会社共栄土木、株式会社共栄開発、株式会社共栄組、
日下部建設株式会社、NPO法人ALL KOBE、五洋建設株式会社神戸営業所、
大旺新洋株式会社、東亜建設工業株式会社、東洋建設株式会社、
富士コンクリート工業株式会社、ヨマス商事株式会社、若築建設株式会社神戸営業所、青木マリーン株式会社、あおみ建設株式会社神戸営業所、家島建設株式会社、株式会社石本建設、宇治工業有限会社、栄臨建設株式会社、株式会社大本組、岡本海洋建設株式会社、奥村組土木興業株式会社、海洋開発興業株式会社、株式会社川﨑組、株式会社関西港湾工業、関門港湾建設株式会社、寄隆建設株式会社、株式会社小島組大阪支店、澤西建設株式会社、株式会社新和建設、大新土木株式会社九州営業所、田村石材株式会社、日本海工株式会社、有限会社ヒカリ、姫路潜水工業株式会社、深田サルベージ建設株式会社、株式会社不動テトラ大阪支店、株式会社本間組、みらい建設工業株式会社、有限会社明北圧送興業、株式会社森長組関西支店、株式会社吉田組、寄神建設株式会社、りんかい日産建設株式会社、わたつみ潜水工事株式会社、新総建設株式会社、全淡建設株式会社、シバタ工業株式会社、明治安田生命須磨営業所　※順不同

協　　力： 日本木球連盟、一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟、ビーサン協会、
NPO法人ALL KOBE

周辺動員数： 800人

プログラム：
- **ビーチウッドボール大村杯**
- **ビーチバレーボール佐伯美香カップ**
- **ビーサン跳ばし大会**
- **すま（須磨）いる食堂**
- **ブルービーチプロジェクト「ビーチクリーン」**
- **開会セレモニー**

＜事前配布チラシ＞

印 刷 部 数 ： 18,000部

配　布　先　： 神戸市須磨区、垂水区、長田区の各南地域（海岸沿い地域）

主催：NPO法人日本ビーチ文化振興協会／後援：国土交通省近畿地方整備局、神戸市

BLUE BEACH PROJECT ブルービーチプロジェクト

オリジナルビーチクリーンバッグプレゼント！

メッシュ素材で作られているため砂が落ち、ゴミだけがバックに残ります。その場で一度だけ使用するゴミ袋ではなく、繰り返し使用するエコバックとして活用することができます。

主　催　：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
後　援　：国土交通省近畿地方整備局、神戸市
協　賛　：一般財団法人みなと総合研究財団、株式会社日本港湾コンサルタント、株式会社共栄土木、株式会社共栄開発、株式会社共栄組、日下部建設株式会社、NPO法人ALL KOBE、五洋建設株式会社神戸営業所、大旺新洋株式会社、東亜建設工業株式会社、東洋建設株式会社、富士コンクリート工業株式会社、ヨマス商事株式会社、若築建設株式会社神戸営業所、青木マリーン株式会社、あおみ建設株式会社神戸営業所、家島建設株式会社、株式会社石本建設、宇治工業有限会社、栄鹿建設株式会社、株式会社大本組、奥村組土木興業株式会社、海洋開発興業株式会社、株式会社辻川崎組、株式会社関西港湾工業、関門港湾建設株式会社、寄神建設株式会社、株式会社小島組大阪支店、澤西建設株式会社、株式会社新和建設、大新土木株式会社九州営業所、田村石材株式会社、日本海工株式会社、有限会社ヒカリ、深田サルベージ建設株式会社、株式会社不動テトラ大阪支店、株式会社本間組、みらい建設工業株式会社、有限会社明北圧送興業、株式会社森長組関西支店、株式会社吉田組、寄神建設株式会社、りんかい日産建設株式会社、わたつみ港水工事株式会社、新綜建設株式会社、全港建設株式会社
協　力　：一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟、兵庫県ビーチバレーボール連盟、日本木球連盟、ビーサン協会、NPO法人ALL KOBE
お問合せ：NPO法人日本ビーチ文化振興協会　神戸支部
〒651-0083　神戸市中央区浜辺通5-1-14神戸商工貿易センタービル20F／info@jbeach.jp

＜掲載記事＞

【神戸市公式ホームページ】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://www.city.kobe.lg.jp/a46366/331163062598.html

KOBE　検索　問い合わせ　メニュー

ホーム > 市政情報 > 記者発表資料 > 記者発表2022年10月 > 「ビーチライフin須磨2022」の開催について

最終更新日：2022年10月19日

「ビーチライフin須磨2022」の開催について

記者資料提供（2022年10月19日）
JR須磨駅前エリアの須磨海岸において、「ビーチライフin須磨2022」が開催されます。
夏の海水浴だけでなく、四季を通じてより多くの市民の方々に海岸を利用してもらうため、気軽に楽しんでいただける参加型のイベントです。

「ビーチライフin須磨2022」

1．日時
令和4年11月6日（日曜） 9時から16時まで
（開会セレモニー：12時から）

2．場所
須磨海岸（ＪＲ須磨駅前エリア）

3．イベント情報

（1）ビーチバレーボール佐伯美香カップ

（2）ビーチバレーボール体験会

（3）ビーチウッドボール大村杯

（4）ビーサン跳ばし

（5）すまいる食堂

（6）ビーチクリーン

※詳細は添付のイベントチラシ（PDF：1,170KB）をご参照ください。

4．主催・問い合わせ先
特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会
電話：078-862-8593
メールアドレス：info@jbeach.jp

【神戸公式観光サイト　Feel KOBE】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://www.feel-kobe.jp/event/16722/

Feel KOBE
神戸公式観光サイト

TRAVEL　EVENT　COLUMN　BOOKING　COUPON　ACCESS

ビーチライフin須磨2022

エリア: 須磨・垂水・舞子

JR須磨駅前エリアの須磨海岸で「ビーチライフin須磨2022」が開催！
ビーチスポーツ未経験者やご家族が気軽に楽しめる参加型のイベントです。

地元の飲食店が並ぶ一日限りの食堂「すま（須磨）いる食堂」も出店。みんなでビーチを楽しもう！

イベントの概要

開催日時	2022年11月6日(日)9:00～16:00
開催場所	須磨海岸（JR須磨駅前エリア） 神戸市須磨区須磨浦町6
料金	入場・ビーチスポーツ体験無料
問合わせ先	特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会
電話番号	078-862-8593
URL	https://www.city.kobe.lg.jp/a46366/331163062598.html

【Kiss PRESS】

U　R　L　： https://kisspress.jp/articles/37845/

街を、もっと楽しもう
Kiss PRESS

EVENTS イベント　GOURMETS グルメ　NEWS ニュース　FEATURES 特集

保存した記事　ルーレット　記事検索

このイベントは終了しました。

オリンピアンが登場のビーチバレー体験会も

須磨海岸『ビーチライフin須磨2022』神戸市須磨区

開催日：2022年11月6日（日）

記事を保存

JR「須磨駅」前の須磨海岸で11月6日、『ビーチライフin須磨2022』が開催されます。入場無料。

夏の海水浴だけでなく、四季を通じてより多くの市民の方々に海岸を利用してもらおうと企画された同イベント。当日は、元ビーチバレーボール女子日本代表で、オリンピックにも3回出場経験を持つ佐伯（さいき）美香さんが登場するビーチバレーボール体験会をはじめ、多彩なプログラムが繰

会場となるのはJR「須磨駅」前に広がる須磨海岸。駅を降りてからビーチまでの道が舗装されて歩きやすいだけでなく、砂に塗れた足などを洗うためのシャワー設備やトイレなどもあり、海遊びの後にも身支度を整えることができます。

イベントでは、メッシュ素材で作られているため砂が落ち、ゴミだけがバッグに残るオリジナルのクリーンバッグがプレゼントされ、ビーチクリーン活動を実施。さらに海岸のゴミを拾い、キレイになったビーチでビーチサンダルを跳ばして距離を競う「ビーサン跳ばし」といった当日参加可能な催しも予定されています。

主催者では「秋の須磨海岸でビーチライフを満喫しよう！」と参加を呼び掛けています。

<記者のひとこと>
水と砂があれば無限に遊べる子どもたちにとって、海は最高の遊び場ですよね（笑）
せっかくだからゴミ拾いにも協力して、綺麗なビーチを保ちたいものです。

開催日	2022年11月6日（日）
時間	9:00～16:00
場所	JR「須磨駅」前　須磨海岸 （神戸市須磨区須磨浦通2-4） GoogleMapで探す

エアプサンで
韓国に行こう！
片道運賃JPY10,580から
今だけのお得な価格で
韓国に行こう
Air Busan エアプサン

株式会社パナホーム兵庫　パナホーム兵庫の住まいのご提案で心地よい暮らしを！　PR

こちらの記事もおすすめ

朝ドラのモデルになった植物博士・牧野富太郎を知ろう！
イベント　神戸市灘区

東京で話題のラーメン店が関西初出店！
グルメ　西宮市

親子で挑戦♪水族園ならではの「おひなさま」づくり
イベント　神戸市須磨区

クラウドサービスの導入支援お任せ下さい
広告　(株)サテライトオフィス　開く

ロケット製作など盛りだくさん！楽しく遊んで学び、分たのしめる、自然と食のテーマパーク
グルメ　三田市

食べるのがもったいない♡横たわるネコのプリンも
グルメ　神戸市中央区

心も体もあたたまる「シチュー&スープフェア」も開催
グルメ　神戸市中央区

＜活動の様子＞

開会セレモニー

ビーチバレーボール佐伯美香カップ

ビーチウッドボール大村杯

ビーサン跳ばし大会

ビーチウッドボール大村杯

ビーサン跳ばし大会

すまいる食堂

ブルービーチプロジェクト　ビーチクリーン

地域資源を活かした
新たな体験学習
創出授業

＜実施概要＞

目　　的：東京都初事業！
地域資源を活かして、東京2020オリンピック競技大会の開催後、正式種目である「ビーチバレーボール」を授業内容に取り入れ、憧れのアスリートによる指導を受けることから、楽しくスポーツを満喫し、子どもたちに夢や目標を持っていただき、やがてはお台場からオリンピアンの創出に繋がる様、取り組んで参ります。
また、自然環境に触れる事で、SDGｓに添った最も新しい授業としての魅力も大いに取り入れることができます。

学 校 名：港区立小中一貫教育校 お台場学園港陽小学校・中学校

対　　象：小学5年生、7年生(中学1年生)

生 徒 数：5年1組　28名
5年2組　26人
7年生　26名

実施候補日：2022年　9月12(月)、10月3日(月)、10月13日(木)、10月24日(月)　計4回実施

場　　所：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

種　　目：ビーチバレーボール

講　　師：佐伯 美香、浦田 聖子、井上 真弥

協　　力：港区青少年対策お台場地区委員会

時 間 割：1・2時間目　5年1組
3・4時間目　5年2組
5・6時間目　7年生

授業内容：**1回目　ビーチクリーン、準備体操、ボール慣れ、砂慣れ**
2回目　ビーチクリーン、準備体操、パス、サーブ、レシーブ、トス
3回目　（体育館）パス、レシーブ、トス／（教室）ビーチバレーボールについて学ぶ
4回目　ビーチクリーン、準備体操、つなぎ（レシーブ・トス・スパイクの流れの習得）

＜掲載記事＞

【りんかいブリーズ（10月14日発行）】

りんかい RINKAI Breeze ブリーズ
2022年 10月 14日 214号
第２金曜日発行
発行 © りんかい Breeze 編集室
臨海副都心新聞販売株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲 2-4-2-105
TEL.0120-039-463 FAX.0120-039-468
E-mail : rinkai96 @ poppy.ocn.ne.jp
編集責任者 石原恵子

都内初　体育授業として「ビーチバレーボール」始まる

港区立小中一貫教育校 お台場学園　おだいばビーチ

東京２０２０オリンピック・パラリンピック会場となった「おだいばビーチ（お台場海浜公園）」で、港区立小中一貫教育校お台場学園の小学５年生、中学１年生を中心に、東京都内初の体育授業の課目のひとつとして、「ビーチバレーボール」の授業が始まった。

晴天に恵まれた９月12日、ビーチクリーンから始まり、はだしでコートのまわりをランニングし、砂浜の感触を確かめた。次にボールに触れて簡単なキャッチングやパス回しを行い、ボールに慣れるための授業が行われた。特別講師はオリンピアンの佐伯美香さんと、元ビーチバレーボールアスリートの浦田聖子さん。

全４回の授業で最終日の10月17日には、４人制ゲームが行われる。

「目の前に広がるビーチを活かして人間本来の足の機能を取り戻し、愛郷心を育み、楽しみながら夢や目標を持ってもらえればと思います」と、ＮＰＯ法人日本ビーチ文化振興協会広報担当の吉澤頌平さんは話している。

【お台場学園だより11月号】

お台場学園だより

令和4年11月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園
〒135-0091 港区台場 1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

地域と共にある学校

校長 大島 一浩

先月15日（土）に港区総合防災訓練が本校を会場に実施されました。当日は多くの地域の方々が集まり、避難所を想定した各設備の紹介や、災害時に役立つ訓練の体験等が行われました。本校の中学生全員で組織している「お台場学園防災 Jr.ティーム」も活躍しました。「食料班」による炊き出しと配給、「搬送班」による要救助者の搬送、消火班による初期消火およびD級ポンプの取扱い、「救護班」によるAED等による救急救命です。いずれも、芝浦港南地区総合支所との連携により、春先より計画を立てて訓練を行ってきた成果です。地域の台場防災協議会の方々にもお世話になりました。お台場では、万が一災害が発生したときは中学生が頼りにされています。生徒達は「お台場の街は自分たちが守る」のスローガンをこれからも引き継いでいきます。

また、先月24日は5・7年生で今年度4回実施した「ビーチバレーボール授業」の最終回でした。この授業はNPO 法人日本ビーチスポーツ振興協会よりご協力いただきました。4回の授業はそれぞれ「挑戦」「協力」「思いやり」「あきらめない」と、テーマが設定されていました。国際大会等で活躍の有名なアスリートからの楽しい指導のおかげで、子どもたちはみるみる上手くなりました。さらに各回のテーマを通して、スポーツの技術だけではなく、人間として大切なものを学ぶこともできました。この授業の実現には、砂浜にバレーボールのコートを設置するために、朝早くから、地域の方も一緒に準備していただきました。

「地域に開かれた学校」という言い方があります。従来、学校は「学校評議員会」を設置して、学校の教育活動に対する学校評議員一人一人の意見をいただいていました。しかし本校はコミュニティ・スクールなので、代わりに『学校運営協議会』を設置しています。学校運営協議会は合議体として、地域の子どもたちがどのように育ってほしいのか、そのために学校は何をしていくのか、地域は何を進めていくのか、ということを話し合う場です。そして、これを実践に移していくためには、地域と学校との相互連携の要である「地域コーディネーター」の行動力・調整力が不可欠です。地域からサマーワークショップや職場体験、各種検定等に協力していただけるのも、反対に地域への子どもたちのボランティア活動や活躍できる場を提供していただけるのもそのおかげです。

本校は「地域に開かれた学校」から一歩進んで、『地域と共にある学校』であることを実感しています。

ビーチバレーボール授業（上）と総合防災訓練（左）

【11月はふれあい月間です】

先月の学習成果発表会（舞台発表の部）では、どの学年も熱心に練習に取り組み、本番では大成功を収めることができました。各学年の団結、達成感は、児童・生徒の成長につながったと思います。大きな行事が終わった後も気を緩めることなく、学んだことをこれからの学校生活にいかせるよう指導していきます。

11月はふれあい月間です。「相手も自分も大切にしよう」を合言葉に、自分の行動や言葉遣いを振り返ります。また、今年度2回目のWebQUを実施し、その結果からよりよい集団作りにつなげていきます。

中学校では、毎月実施している学校生活アンケートにさらに項目を追加し、じっくりと自分と向き合う時間を設けます。また、自分が言われて嬉しかった言葉、不快だった言葉を共有し、普段何気なく使っている言葉について考える機会としていきます。

小さな変化やサインに目を配り、居心地のよい学級、学校づくりを児童・生徒、教職員一同で進めていきます。

（生活指導主任 内藤 真由子・青山 麻希）

【情報誌「港湾9月号」】

地域資源を活かした新たな体験学習創出授業「港区立小中一貫教育校お台場学園」

NPO法人日本ビーチ文化振興協会代表理事
佐伯　美香

おだいばビーチ

東京都港区のお台場海浜公園内には、全長800mの人工ビーチが広がり、砂浜には伊豆諸島 神津島の砂がしきつめられている。おだいばビーチは、一年を通して様々なイベントが開催され国内外の観光客で賑わいを見せ、ビーチ・マリンスポーツのメッカとして愛好者や地元の方に親しまれているビーチである。2021年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 トライアスロン会場」として使用され、また、お台場海浜公園からほど近いところにある潮風公園には「ビーチバレーボール会場」が設けられ、お台場から世界中に興奮と感動を与えた。

お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

ビーチを活かした新たな授業

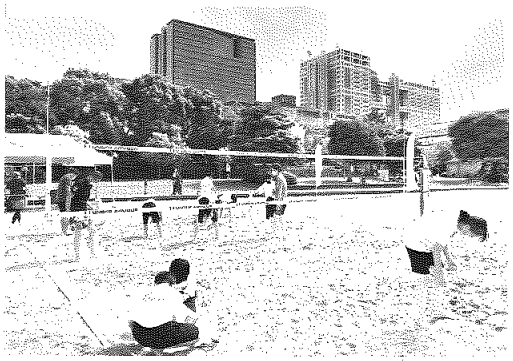
今回、そのお台場海浜公園おだいばビーチの目と鼻の先にある「港区立小中一貫教育校 お台場学園 港陽小学校・港陽中学校」の小学5年生（54名）と中学1年生（26名）を対象に、体育授業の課目としては都内初となる「ビーチバレーボール」を実施した。お台場学園特有の立地であるビーチを活かし、「はだし」になって潮風を感じることで、人間本来の足の機能を高めながら心身の健康を図り、また活動の中で砂浜に落ちているゴミを拾う「ビーチクリーン」を通じて、自然に触れながら環境保全への理解を深めることを目的とした新たな授業として取り組んだ。

授業では、ビーチバレーボールオリンピアンの私と元ビーチバレーボールアスリートの浦田聖子（当協会理事）、元プロビーチバレーボールアスリートの井上真弥が講師を務めた。オリンピックの正式種目である「ビーチバレーボール」で世界を転戦してきたトップアスリートによる指導として、競技の魅力や楽しさを感じてもらうだけでなく、子どもたちに夢や目標を持つことの大切さも伝えられるよう務めた。また、地域コーディネーターの「港区青少年対策お台場地区委員会」の方々に授業の運営をサポートいただき、地域の方と生徒との交流を行いながら、地元の良さを再発見し、子どもたちの愛郷心の育みへとつなげていった。

授業は全4回（第1回：9月12日（月）、第2回：10月3日（月）、第3回：10月13日（木）、第4回：10月24日（月））実施した。

1回目テーマ「挑戦」

はだしで砂に慣れることからスタートした。9月中旬ではあったが、日中は30℃近くまで気温が上がり、日差しも強く砂も熱くなっていたことから、熱中症や足裏の火傷がないよう、休憩や水分補給を多く取り、砂浜に定期的に水を撒きながら生徒たちの体調面に気を配った。過酷な中での授業ではあったが、子どもたちは弱音を吐くことなく、むしろ初めてのビーチでの体育授業を思い切り楽しんでいた様子であり、意欲的に取り組んでいた姿が印象的だった。授業を終え、次回の課題について講師、スタッフを交えて意見を出し合い、またボランティアの地域コーディネーターの方々からも意見をいただき、学校側と共有し、万全を図った。



授業開始前に全員でビーチクリーン

2回目テーマ「協力」

チームに分かれてボールを運ぶゲームや、二人一組になってボールを落とさないようにパスをつなぐなど、ゲーム性を持たせて楽しめる内容で行った。チームの中で作戦を考えたり、名前を呼んで声を掛け合ったりと、自然と生徒同士がコミュニケーションをとって協力する姿があったことは、現代のインターネット社会からかけ離れた時間であると実感した。

授業の様子

3回目テーマ「思いやり」

屋内にて実技と講義を行った。講義では、ビーチバレーボールの歴史やルールなどについて映像を見ながら説明し、また、映像に出てきた内容についてクイズを出すと積極的に手を挙げてクイズに答えていた。質疑応答では、「試合前にはどんなルーティーンをしていたか」「何歳からバレーボールをはじめたか」「試合前に緊張しないか」など、様々な質問があがり、そのひとつひとつに答えた。講義の最後に目標や夢を持つことの大切さや、その達成には様々な人の支えがあることから、感謝の気持ちを大切にしてほしいと伝えた。

講義の様子　映像を見ながらビーチバレーボールについて学ぶ

4回目テーマ「諦めない」

この時間では、生徒の上達ぶりを目に見えて感じることができた。アンダーパスやオーバーパスで味方にボールを返すことができ、また、サーブの練習でネットを越えられるまで続けていた生徒もおり、テーマに沿った形として授業を終えることができた。

授業を通して、生徒からは「楽しかった」「ビーチバレーボールに興味が湧いた」「サーブやパスが上達して嬉しかった」などの声を聞くことができた。また、校長の大島一浩先生は、「国際大会等で活躍していた有名なアスリートからの指導のおかげで、子どもたちはみるみる上手くなった。さらに各回のテーマを通して、スポーツの技術だけではなく、人間として大切なものを学ぶこともできた。本校は『地域に開かれた学校』から一歩進んで、『地域と共にある学校』であることを実感している」と授業の効果を感じていた。

おわりに

おだいばビーチは、イベントやスポーツの場というだけでなく、教育の場としても利用できる資源であると実感し、海辺を利用した新しい学校教育の取り組みを検討しながら、今後も継続した事業となるよう、学校と地域と連携を図っていく。

生徒とビーチにて記念撮影

＜授業1回目　テーマ「挑戦」＞

実　施　日　： 9月12日(月)
天　　気： 曇りのち晴れ
気　　温： 最低気温　22.0℃／最高気温　31.2℃

はだしで砂に慣れることからスタート。9月中旬ではあったが、日中は30℃近くまで気温が上がり、日差しも強く砂も熱くなっていたことから、熱中症や足裏の火傷がないよう、休憩や水分補給を多く取り、砂浜に定期的に水を撒きながら生徒たちの体調面に気を配った。過酷な中での授業ではあったが、子どもたちは弱音を吐くことなく、むしろ初めてのビーチでの体育授業を思い切り楽しんでいた様子であり、意欲的に取り組んでいた姿が印象的だった。授業を終え、次回の課題について講師、スタッフを交えて意見を出し合い、またボランティアの地域コーディネーターの方々からも意見をいただき、学校側と共有し、万全を図った。

授業開始前の挨拶

ストレッチ

両手、片手でボールをパスする練習

中学生は少し難易度をあげて片手でボールコントロール

ボールを当てる位置を説明

砂が熱くなっていたため、水撒きを適宜行いました

＜授業2回目　テーマ「協力」＞

実　施　日　： 10月3日(月)
天　　気： 曇り
気　　温： 最低気温　20.1℃／最高気温　27.6℃

チームに分かれてボールを運ぶゲームや、二人一組になってボールを落とさないようにパスをつなぐなど、ゲーム性を持たせて楽しめる内容で行った。チームの中で作戦を考えたり、名前を呼んで声を掛け合ったりと、自然と生徒同士がコミュニケーションをとって協力する姿があったことは、現代のインターネット社会からかけ離れた時間であると実感した。

ボールを使ったビンゴゲーム

アンダーパスの練習

スパイク体験をする生徒

リズムに合わせてジャンプ

アタックの練習

学校のご厚意でいただいた給食

＜授業3回目　テーマ「思いやり」＞

実　施　日　： 10月13日(木)
天　　気： 雨
気　　温： 最低気温　14.9℃／最高気温　17.9℃
会　　場： 体育館・教室

屋内にて実技と講義を行った。講義では、ビーチバレーボールの歴史やルールなどについて映像を見ながら説明し、また、映像に出てきた内容についてクイズを出すと積極的に手を挙げてクイズに答えていた。質疑応答では、「試合前にはどんなルーティーンをしていたか」「何歳からバレーボールをはじめたか」「試合前に緊張しないか」など、様々な質問があがり、そのひとつひとつに答えた。講義の最後に目標や夢を持つことの大切さや、その達成には様々な人の支えがあることから、感謝の気持ちを大切にしてほしいと伝えた。

元ビーチバレーボール日本代表　朝日健太郎氏
ボールコントロールの練習に参加

朝日氏のアタックを受ける先生

インドアバレーボールとビーチバレーボールの違いについて説明

質疑応答では多くの質問があがりました

映像を見たあとにビーチバレーボールに関してクイズを出題

＜授業2回目　テーマ「諦めない」＞

実　施　日　： 10月24日(月)
天　　気： 雨のち曇り
気　　温： 最低気温　12.8℃／最高気温　17.2℃

この時間では、生徒の上達ぶりを目に見えて感じることができた。アンダーパスやオーバーパスで味方にボールを返すことができ、また、サーブの練習でネットを越えられるまで続けていた生徒もおり、テーマに沿った形として授業を終えることができた。

（生徒からの所感）

・選手の指導がとても分かりやすかったです！
・屋内とは全くちがった。あつかったし、動きにくかったけど思ってたより楽しかった
・ビーチバレーボール楽しい！もっとやりたい！もっとビーチバレーボールについて知りたい
・ふつうのバレーボールより難しいけど、砂の上だからこそ新しい体験ができた。すごく楽しかった授業だった

見本では積極的に手をあげて参加してくれました

サーブ練習

トス、レシーブをつなぎ、最後はアタックを決めました

講師と生徒で意見交換

代表の生徒から感謝の挨拶をいただきました

最後に生徒みんなとハイタッチ

海辺を守ろう！創ろう！育てよう！

ブルービーチプロジェクト事業

『海辺を守ろう！創ろう！育てよう！ブルービーチプロジェクト』とは

弊協会では、人が海辺と共存することで生まれる「賑わい空間の創出」を目的に、 ビーチスポーツの　普及、水辺安全教室を通しての青少年育成、はだしによる健康増進などを通して、地域の活性化を推進しています。活動している中、年々深刻になる海辺の浸食やゴミ問題に**「島国日本の大切な海辺、通年　集える環境を創ろう！」**という志から、ビーチを　使用するアスリートを中心に、2008年に**「海辺を守ろう！運動」**をスタートしました。

＜活動の一環＞

「ビーチライフ」の推進…
エアコンや電気を使うことで排出されるCO^2が、屋外ビーチで過ごすことによってCO^2の削減につながる

ビーチクリーン実施による環境美化活動…
海洋汚染、プラスチックゴミ問題など身近で学ぶことで、次世代を担うこどもの環境理解促進につなげる

「水辺の安全教室」普及…
事故を未然に防ぐことを目的とし、水辺の正しい知識や命の大切さを指導

これからも海辺で活動する団体の使命として、次世代によりよい海辺環境を引き継ぐように
「**海辺を守ろう！創ろう！育てよう！ブルービーチプロジェクト**」と名称を改め、活動の強化を図ってまいります。

3つのアクション

＜協賛企業様　※順不同＞

みなと総研

一般社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会 JAPAN MARINA & BEACH ASSOCIATION

夢から感動へ―ハートテクノロジー 東洋建設

東亜建設工業 TOA CORPORATION

若築建設

みらい建設工業株式会社

りんかい日産建設

株式会社トマック

五洋建設 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION

ゼニヤ海洋サービス株式会社

SHIBATA

建設コンサルタント 株式会社エコー

株式会社 日本港湾コンサルタント 関西支店

KYOEI GROUP 株式会社共栄土木

大旺新洋株式会社

NPO 法人 ALL KOBE

日下部建設株式会社

夢から感動へ―ハートテクノロジー 東洋建設 神戸営業所

ヨマス商事株式会社

ヤマト工業株式会社

株式会社小島組 大阪支店

株式会社川崎組

株式会社関西港湾工業

深田サルベージ建設株式会社

株式会社森長組 MORICHO CORPORATION

大新土木株式会社 九州営業所

KANMON OCEANIC ENGINEERING WORKS 関門港湾建設株式会社

東亜建設工業 TOA CORPORATION 神戸営業所

奥村組土木興業株式会社

＜実施イベント公式サイト掲載＞

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル お台場2022　公式サイト

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト
ジャパンビーチゲームズ®
フェスティバルお台場2022
日時：2022年5月3日[祝・火]―5月6日[金]
10：00～16：00（各大会に応じて時間は異なります）
会場：お台場海浜公園おだいばビーチ｜東京都港区台場
※雨天決行（一部中止）・荒天中止

入場無料　体験無料

千葉市政令指定移行30周年 ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022 公式サイト

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト
×
千葉市政令指定都市移行30周年
ジャパンビーチゲームズ®
フェスティバル千葉2022
日時 2022年10月22日[土]―10月23日[日]
9:45～17:00（各大会に応じて時間は異なります）
会場：稲毛海浜公園いなげの浜｜千葉県千葉市美浜区
※雨天決行（一部中止）・荒天中止

入場無料　体験無料

各日先着700名様に
イベントオリジナルリストバンドをプレゼント！

＜実施内容　①ブルービーチプロジェクト　看板掲出＞

会場・日程：

＜ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022＞

会　場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
日　時：2022年 5月3日(火・祝)～5月6日(金)

＜はだし運動会＞

会　場：東扇島東公園かわさきの浜（神奈川県川崎市）
日　時：2022年 10月8日(土)

＜ビーチライフin伊予＞

会　場：五色姫海浜公園五色浜海岸（愛媛県伊予市）
日　時：2022年 10月9日(日)

＜ビーチライフin柏崎＞

会　場：東の輪海水浴場（新潟県柏崎市）
日　時：2022年 10月16日(日)

＜千葉市政令指定移行30周年　ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022＞

会　場：稲毛海浜公園いなげの浜（千葉県千葉市）
日　時：2022年 10月22日(日)～23日(土)

＜ビーチライフin須磨＞

会　場：須磨海岸（兵庫県神戸市）
日　時：2022年 11月6日(日)

＜実施内容　②ビーチクリーン＞

会場・日程：

＜ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022＞

会　場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
日　時：2022年 5月3日(火・祝)～5月6日(金)

＜地域資源を活かした新たな体験学習創出授業「港区立小中一貫教育校お台場学園」＞

会　場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
日　時：2022年 9月12(月)、10月3日(月)、10月13日(木)、10月24日(月)　計4回実施

＜はだし運動会＞

会　場：東扇島東公園かわさきの浜（神奈川県川崎市）
日　時：2022年 10月8日(土)

＜ビーチライフin伊予＞

会　場：五色姫海浜公園五色浜海岸（愛媛県伊予市）
日　時：2022年 10月9日(日)

＜はだしになろう　親子でビーチスポーツレク＞

会　場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
日　時：2022年 10月15日(土)

＜ビーチライフin柏崎＞

会　場：東の輪海水浴場（新潟県柏崎市）
日　時：2022年 10月16日(日)

＜千葉市政令指定移行30周年　ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022＞

会　場：稲毛海浜公園いなげの浜（千葉県千葉市）
日　時：2022年 10月22日(日)～23日(土)

＜ビーチライフin須磨＞

会　場：須磨海岸（兵庫県神戸市）
日　時：2022年 11月6日(日)

オリジナルビーチクリーンバッグ
メッシュ地のバッグにはゴミだけが残り、また一度だけ
使用するゴミ袋ではなく繰り返し使える
エコバックとして活用できます

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022
オリジナルビーチクリーンバッグについて説明

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022
開会セレモニー後に参加者と一緒にビーチクリーン

ビーチライフin伊予
ゴミを回収する様子

地域資源を活かした新たな体験学習創出授業
「港区立小中一貫教育校お台場学園」
授業前に全員でビーチクリーン

川崎みなと祭り　はだし運動会
オリジナルビーチクリーンバッグいっぱいにゴミを拾う子ども

海辺の安全・防災事業

<AED講習会　実施概要>

実　施　日：2022年11月28日(月)
会　　場：株式会社クボタ建設
講　　師：遊佐 雅美
受 講 者 数：26人
講 習 内 容：14:00～14:30　AEDの使用方法について
14:30～16:00　AEDを使用した心肺蘇生の体験実習

一次救命処置の重要性、AEDの仕組みなどについて講義

レサシアン人形を使用した胸骨圧迫の実習

AEDの使い方、手順について体験

＜災害時避難経路図の啓発＞

目　　的： 活動を行う上で、海辺を楽しく集い、憩える場として安全安心に利用いただくため、災害時の避難経路図や避難誘導の確認、緊急事態に対応できる心構えを共通の認識として協議・検討し、全国の海辺を持つ自治体や海辺で活動する団体へ普及啓発を行っています。

会場・日程：

＜ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2022＞
会　場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
日　時：2022年 5月3日(火・祝)～5月6日(金)

＜ビーチライフin伊予＞
会　場：五色姫海浜公園五色浜海岸（愛媛県伊予市）
日　時：2022年 10月9日(日)

＜ビーチライフin柏崎＞
会　場：東の輪海水浴場（新潟県柏崎市）
日　時：2022年 10月16日(日)

＜千葉市政令指定移行30周年　ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022＞
会　場：稲毛海浜公園いなげの浜（千葉県千葉市）
日　時：2022年 10月22日(日)～23日(土)

＜ビーチライフin須磨＞
会　場：須磨海岸（兵庫県神戸市）
日　時：2022年 11月6日(日)

災害時避難経路図POP（A3サイズ）

当日配布チラシに記載

各会場の目につくところに掲出

ビーチで健康力アップ支援事業

＜お台場ビーチバレー2022　実施概要＞

目　　的： ビーチバレーボールを通してビーチスポーツ全体の普及促進を図るとともに、認知向上、競技者人口の拡大を目指しスポーツ振興に寄与することに加え、お台場海浜公園のさらなる利用者、認知向上を目的とします。

主　　催： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

後　　援： 東京都、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、東京港埠頭株式会社、株式会社東京テレポートセンター）、日本ビーチバレーボール連盟、東京都ビーチバレーボール連盟

会　　場： お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

開催期間： 2022年4月9日～12月11日　全35大会（33大会実施、2大会雨天中止）

参加者数： 2,583人

周辺動員数： 5,600人

大会詳細：
- ・参加費用　：2人制3,000円／チーム（傷害保険含む）
  4人制6,000円／チーム（傷害保険含む）
- ・エントリー方法：オフィシャルホームページより事前エントリーを受付
- ・競技内容　：一般参加型のビーチバレー2人制男女・4人制男女ミックス大会を実施
- ・参加対象　：一般参加者（高校生以上）
- ・競技方法　：ローカルルールによりラリーポイント制
- ・表　彰　：上位・下位トーナメントの1位～3位まで表彰

タイムスケジュール：

7:15　スタッフ集合
7:30　倉庫より備品搬出／コート、バナー、テント設営
9:00　受付開始
10:00　開会式
10:15　リーグ戦
12:00　上位・下位トーナメント
16:30　表彰／撤収作業
18:00　終了

<公式WEBサイト>

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://odaibabeach.jp/

アクセス数： 28,129（2022年4月～12月）

ODAIBA BEACH VOLLEY　KAWASAKI beachvolley in かわさきの浜

2022年大会 一覧表はこちらから!

NEXT GAME

お台場ビーチバレー

2022年大会は全日程を終了しました。ご参加いただきましてありがとうございました。

川崎ビーチバレー in かわさきの浜

12月18日（日）	2人制(男子又は男女ペア)／4人制ミックス	受付中　受付状況
12月25日（日）	2人制(男子又は男女ペア)／4人制ミックス	受付中　受付状況

※大会カテゴリーが変更になる場合がございます。
※男子2人制に男女ペアでもエントリーすることが出来ます。
※大会エントリー後出場をキャンセルされる場合は、早めに事務局の方にご連絡をください。
※ご連絡をいただけず無断キャンセルが続いた場合は、出場をお断りすることもございますのでご注意ください。

2人制・4人制のエントリーはこちらから
川崎ビーチバレーのエントリーも可能です！

Today's Schedule　一覧

※雨天中止の場合はこちらでお知らせいたします。開催日の朝7時に更新しています。

2022.12.11　本日、『第35回お台場ビーチバレー2022』(2人制／4人制ミックス)は開催致します。
2022.12.4　本日、『第33回お台場ビーチバレー2022』(2人制／4人制ミックス)は開催致します。
2022.12.3　本日、『第32回お台場ビーチバレー2022』(2人制／4人制ミックス)は開催致します。
2022.11.27　本日、『第31回お台場ビーチバレー2022』(2人制／4人制ミックス)は開催致します。
2022.11.26　本日『第30回お台場ビーチバレー2022』(2人制／4人制ミックス)は開始時間を変更し、開催致します。

ニュース　一覧

2022.11.28　12月10日（土）・12月11日（日）大会のエントリーを開始しました。
2022.11.21　12月3日（土）・12月4日（日）大会のエントリーを開始しました。
2022.11.14　11月26日（土）・11月27日（日）大会のエントリーを開始しました。
2022.11.7　11月19日（土）・11月20日（日）大会のエントリーを開始しました。
2022.10.10　10月22日（土）・10月23日（日）大会のエントリーを開始しました。

新型コロナウィルス対策について

1.楽しく安心・安全にプレーして頂くために、風邪様似の症状等をお持ちの方の参加は禁止とさせて頂きます。ご了承ください。

2.大会当日も以下の内容で皆様にご協力をお願いしております。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。※対策事項[PDF：120KB]

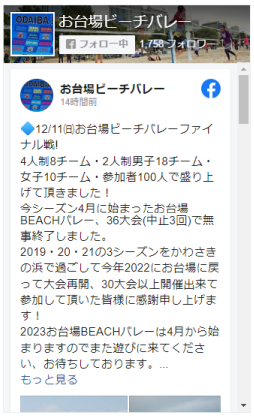
3.今後の社会情勢等により急遽大会が中止となることがございますのでご了承下さい。尚、大会のお知らせはHP若しくはFacebookにて随時発信致しますのでご確認ください。

4.現在、密にならないよう参加チーム数を制限させていただいております。状況によって早めの締切をさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

参加者の皆様へのお知らせ

『来場者シート』の事前記入のご協力をお願いいたします。各自マスクを必ず持参してください。
※来場者シート[DOC：17KB]
利用するすべての方々が気持ち良く利用出来るよう、日本ビーチ文化振興協会では遵守事項を定めています。違反した場合は、今後開催ができなくなります。遵守事項を守ってビーチバレーを楽しみましょう！

Sport in Life
スポーツ庁のSport in Projectに賛同しています。



日本ビーチ文化振興協会

KAWASAKI beachvolley in かわさきの浜

＜掲載記事＞

【東京お台場.net】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://www.tokyo-odaiba.net/event_lerning/odaiba_beachvolley_2022/

東京お台場.net

すべて　気になるワードで検索　交通アクセス　音声読み上げ　Language

イベント　特集　遊び・エンタメ　観光　学ぶ・体験　食べる　ショッピング　宿泊・くつろぐ　その他　おすすめコース　お得情報

#学ぶ・体験　#遊び・エンタメ

【参加者募集中】お台場ビーチバレー 2022

2022-04-09 ～ 2022-12-11　台場エリア

© NPO法人日本ビーチ文化振興協会

イベント情報

開催期間
2022-04-09 ～ 2022-12-11

開催場所
お台場海浜公園おだいばビーチ

ウェブサイト
https://www.jbeach.jp/odaibabeach/

お問合せ先【メールアドレス】
odaiba@jbeach.jp

お台場ビーチバレーとは

お台場海浜公園おだいばビーチで4月から12月に開かれているビーチバレーボール一般大会です。
レインボーブリッジをバックに素晴らしい景観のもと、誰もが参加できる大会となっております。

ビーチバレーボールを通してビーチスポーツ全体の普及促進を図るとともに、認知向上、競技者人口の拡大を目指しスポーツ振興に寄与することに加え、お台場海浜公園のさらなる利用者、認知向上を目的とします。

★開催概要

- **実施日程**
  令和４年４月９日(土)、１０日(日)、１６日(土)、１７日(日)
  ５月２１日(土)、２２日(日)、２８日(土)、２９日(日)
  ６月１２日(日)、１８日(土)、２５日(土)、２６日(日)
  ７月９日(土)、１０日(日)、２３日(土)、２４日(日)
  ８月１３日(土)、１４日(日)、２７日(土)、２８日(日)
  ９月３日(土)、１１日(日)、２４日(土)、２５日（日）
  １０月１５日(土)、１６日(日)、２２日(土)、２３日(日)
  １１月１９日(土)、２０日(日)、２６日(土)、２７日(日)
  １２月３日(土)、４日（日）、１０日（土）、１１日（日）
  合計３６日間
- **会 場**
  お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
- **参加費用**
  ・2人制 3,000 円／チーム（傷害保険含む）
  ・4人制 6,000 円／チーム（傷害保険含む）
- **エントリー方法**
  オフィシャルホームページより事前エントリーを受付
- **競技内容**
  一般参加型のビーチバレー2人制男女・4人制男女ミックス大会を実施
- **参加対象**
  一般参加者（高校生以上）
- **競技方法**
  ローカルルールによりラリーポイント制
- **表 彰**
  優勝から3位まで表彰
- **主 催**
  NPO 法人日本ビーチ文化振興協会
- **協 賛**
  （募集中）
- **後 援**
  （申請中）東京都、臨海副都心まちづくり協議会
  東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、
  東京港埠頭株式会社、株式会社東京テレポートセンター）
  日本ビーチバレーボール連盟、東京都ビーチバレーボール連盟

【りんかい線】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://www.twr.co.jp/tabid/354/id/39102/Default.aspx

りんかい線
TOKYO WATERFRONT AREA RAPID TRANSIT INC.

文字サイズ 標準 大きく　背景色の変更 白 青 黄 黒　サイト内検索

English | 簡体中文 | 繁体中文 | 한국어

駅情報・時刻表・運賃 | 沿線ガイド 駅ナビ | りんかい線 FUN☆FAN | 企業・採用 | お問い合わせ

運行情報　常通り運転しています。　遅延証明書　Twitter運行情報

ホーム ＞ イベント一覧 ＞ イベント詳細

イベント詳細

【参加者募集中】お台場ビーチバレー 2022

© NPO法人日本ビーチ文化振興協会

お台場ビーチバレーとは

お台場海浜公園おだいばビーチで4月から12月に開かれているビーチバレーボール一般大会です。
レインボーブリッジをバックに素晴らしい景観のもと、誰もが参加できる大会となっております。

ビーチバレーボールを通してビーチスポーツ全体の普及促進を図るとともに、認知向上、競技者人口の拡大を目指しスポーツ振興に寄与することに加え、お台場海浜公園のさらなる利用者、認知向上を目的とします。

★開催概要

実施日程
令和４年４月９日(土)、１０日(日)、１６日(土)、１７日(日)
５月２１日(土)、２２日(日)、２８日(土)、２９日(日)
６月１２日(日)、１８日(土)、２５日(土)、２６日(日)
７月９日(土)、１０日(日)、２３日(土)、２４日(日)
８月１３日(土)、１４日(日)、２７日(土)、２８日(日)
９月３日(土)、１１日(日)、２４日(土)、２５日（日）
１０月１５日(土)、１６日(日)、２２日(土)、２３日(日)
１１月１９日(土)、２０日(日)、２６日(土)、２７日(日)
１２月３日(土)、４日（日）、１０日（土）、１１日（日）
合計３６日間

会 場
お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

参加費用
・２人制 3,000 円／チーム（傷害保険含む）
・４人制 6,000 円／チーム（傷害保険含む）

エントリー方法
オフィシャルホームページ より事前エントリーを受付

競技内容
一般参加型のビーチバレー2人制男女・4人制男女ミックス大会を実施

参加対象
一般参加者（高校生以上）

競技方法
ローカルルールによりラリーポイント制

表 彰
優勝から3位まで表彰

主 催
NPO 法人日本ビーチ文化振興協会

協 賛
（募集中）

後 援
（申請中）東京都、臨海副都心まちづくり協議会
東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、
東京港埠頭株式会社、株式会社東京テレポートセンター）
日本ビーチバレーボール連盟、東京都ビーチバレーボール連盟

【ゆりかもめ】

Ｕ　Ｒ　Ｌ　：https://www.yurikamome.co.jp/sightseeing/event/39102.html

【参加者募集中】お台場ビーチバレー 2022

イベント情報

© NPO法人日本ビーチ文化振興協会

お台場ビーチバレーとは

お台場海浜公園おだいばビーチで4月から12月に開かれているビーチバレーボール一般大会です。
レインボーブリッジをバックに素晴らしい景観のもと、誰もが参加できる大会となっております。

ビーチバレーボールを通してビーチスポーツ全体の普及促進を図るとともに、認知向上、競技者人口の拡大を目指しスポーツ振興に寄与することに加え、お台場海浜公園のさらなる利用者、認知向上を目的とします。

★開催概要

- **実施日程**
  令和４年４月９日(土)、１０日(日)、１６日(土)、１７日(日)
  ５月２１日(土)、２２日(日)、２８日(土)、２９日(日)
  ６月１２日(日)、１８日(土)、２５日(土)、２６日(日)
  ７月９日(土)、１０日(日)、２３日(土)、２４日(日)
  ８月１３日(土)、１４日(日)、２７日(土)、２８日(日)
  ９月３日(土)、１１日(日)、２４日(土)、２５日（日）
  １０月１５日(土)、１６日(日)、２２日(土)、２３日(日)
  １１月１９日(土)、２０日(日)、２６日(土)、２７日(日)
  １２月３日(土)、４日（日）、１０日（土）、１１日（日）
  合計３６日間
- **会 場**
  お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
- **参加費用**
  ・ 2人制 3,000 円／チーム（傷害保険含む）
  ・ 4人制 6,000 円／チーム（傷害保険含む）
- **エントリー方法**
  オフィシャルホームページより事前エントリーを受付
- **競技内容**
  一般参加型のビーチバレー2人制男女・4人制男女ミックス大会を実施
- **参加対象**
  一般参加者（高校生以上）
- **競技方法**
  ローカルルールによりラリーポイント制
- **表 彰**
  優勝から3位まで表彰
- **主 催**
  NPO 法人日本ビーチ文化振興協会
- **協 賛**
  （募集中）
- **後 援**
  （申請中）東京都、臨海副都心まちづくり協議会
  東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、
  東京港埠頭株式会社、株式会社東京テレポートセンター）
  日本ビーチバレーボール連盟、東京都ビーチバレーボール連盟

＜大会の様子＞

耕運機でビーチの砂を掘り起こして柔らかくする作業

4月のビーチクリーンでは大きな石の塊が出てきました

集合写真

レインボーブリッジや高層ビル群などお台場らしい景観を
背景にビーチバレーボールを楽しむ参加者

男子・男女2人制大会の様子

冬場でも100人近い参加者が出場します

お揃いのTシャツで参加するチーム

男女混合4人制大会　優勝チーム

＜川崎ビーチバレーinかわさきの浜2022　実施概要＞

目　　的： 平成30年で10周年を迎えた東扇島東公園。おだやかな入り江で景観も素晴らしく、まさに川崎市の資源の宝庫であります。美しい浜、整備された緑道、広いグラウンド、夕日と飛行機が見える景観、そして首都圏の災害発生時には内閣府が所管する防災拠点施設として、緊急輸送物資の中継拠点等の役割を担うなど、東扇島東公園には様々な役割があり、本大会はそれを再認識する良い機会でもあります。川崎市唯一の浜であり、最高の憩いの場である『かわさきの浜』をもっと多くの市民に知ってもらいたい、そしてオリンピックの正式競技であるビーチバレーボールの普及とともに、スポーツを通じて川崎市民の健康増進を図りつつ、川崎市唯一の浜である『かわさきの浜』を活用して、昨年協定を締結した市とも連携をし、川崎港・東扇島全体の更なるイメージ向上と振興、東扇島東公園・かわさきの浜の認知を広めることを目的としています。

主　　催： NPO法人日本ビーチ文化振興協会

後　　援： 公益社団法人川崎港振興協会

会　　場： 東扇島東公園かわさきの浜（神奈川県川崎市）

開催期間： 2022年3月27日～12月25日　全20大会（18大会実施、2大会雨天中止）

参加者数： 565名

周辺動員数： 864人

大会詳細：
- ・参加費用　：2人制3,000円／チーム（傷害保険含む）
  4人制6,000円／チーム（傷害保険含む）
- ・エントリー方法：オフィシャルホームページより事前エントリーを受付
- ・競技内容　：一般参加型のビーチバレー2人制男女・4人制男女ミックス大会を実施
- ・参加対象　：一般参加者（高校生以上）
- ・競技方法　：ローカルルールによりラリーポイント制
- ・表　彰　：上位・下位トーナメントの1位～3位まで表彰

タイムスケジュール：

8:30　スタッフ集合・準備
9:00　受付開始
10:00　開会式
10:30　リーグ戦
13:00　上位・下位トーナメント
16:00　表彰／撤収作業
17:00　終了

<公式WEBサイト>

Ｕ　Ｒ　Ｌ　： https://kawasakibeach.jp/

アクセス数： 28,129（2022年4月～12月）

<大会の様子>

集合写真

男女混合4人制大会の様子

2人制大会の様子

寒い冬場は長袖を着込んで出場

得点が入ってチームみんなで喜びをわかち合います

老若男女問わず大会に参加

大会入賞チームの記念撮影

当協会の活動

【NPO法人日本ビーチ文化振興協会】

＜佐伯美香　新代表理事就任＞

代表理事就任のご挨拶

謹啓　大暑の候 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて 私
令和４年7月15日開催の弊協会臨時理事会におきまして、代表理事に選任され
この度就任いたしました。
一年を通じて人々が集い、ふれあい、楽しめる「海辺の広場」の創造を理念とし、海水浴のみならず「活用するビーチ」と発展し活動してきた弊協会の歩みは、20年を迎えました。
これまでビーチをしっかり踏みしめて創って参りました「はだしの足跡」を継承し、一意専心 皆様のご期待に添うべく取り組んで参る所存でございます。
「ビーチスポーツの啓発と共に健康の向上、青少年育成」「次世代に繋ぐ美しい海・海辺の環境づくり」「里浜づくり」など、海辺にたくさんの笑顔があふれ、家族、そして地域が繋がり、ビーチから地域の活性化に繋がるよう努めて参ります。また多種多様なビーチスポーツの可能性を引き出し、ビーチの価値向上につながる国際大会の招致にも力を入れて、世界に向け日本の発信にも努めて参ります。

どうぞ、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。
まずは、略儀ながら書中をもってご挨拶を申し上げます。

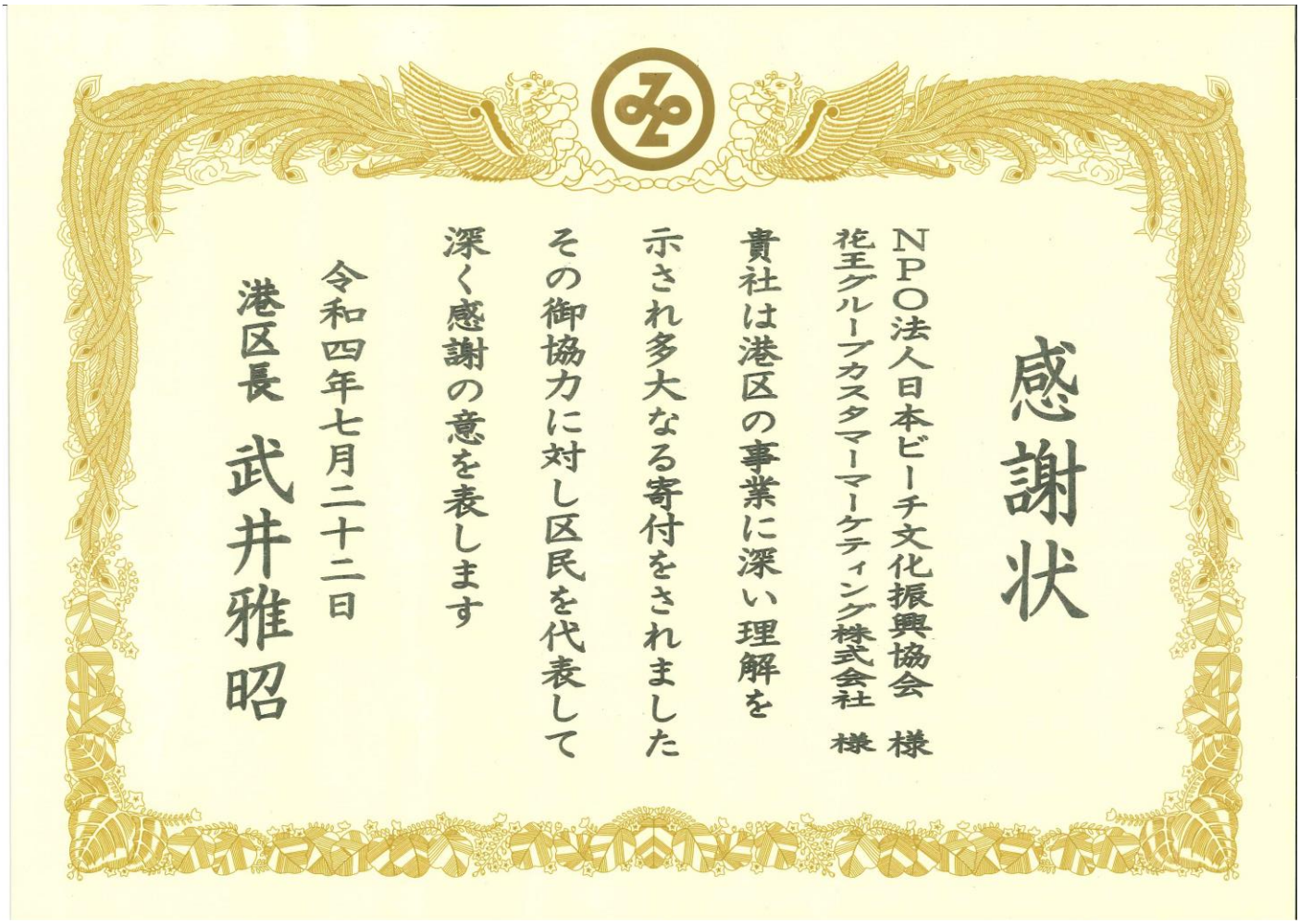
謹白

令和4年11月30日

特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会

代表理事 佐伯美香

＜港区感謝状授与＞



感謝状

NPO法人日本ビーチ文化振興協会　様
花王グループカスタマーマーケティング株式会社　様

貴社は港区の事業に深い理解を
示され多大なる寄付をされました
その御協力に対し区民を代表して
深く感謝の意を表します

令和四年七月二十二日

港区長　武井雅昭

はだし文化新聞

HADASHI BUNKA SHIMBUN

ツボを押さえて読むほどハマる!

はだし文化新聞

ふむふむ

No.15 2022 10|31

2022年10月31日発行 通巻第15号
発行/NPO法人日本ビーチ文化振興協会
編集人/佐伯美香
〒104-0033 東京都中央区新川1-1-7 リバーサイド茅場町3階
電話 03-3552-1171

編集スタッフ/吉田亘次 (BeachvolleyballStyle)
デザイン/島内泰弘デザイン室

INDEX

1面 ・「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2022お台場」誰もが友達になれるビーチパーク 演出!
2-3面 ・「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2022お台場」パラスポーツ&コースタルローイング&アクアスロン&モビマット&ブルービーチプロジェクト
・連載:朝日健太郎が目指す砂ソムリエ
・連載:New Sports Power
・連載:おらが町のビーチ自慢
4面 ・代表理事 佐伯美香「決意表明」
・「ビーチバレーボール」が体育の授業に。東京2020レガシー「おだいばビーチ」で始動。
・初開催!「ビーチライフin伊予」
・編集後記:はだしの冒険

JAPAN BEACH GAMES® FESTIVAL ODAIBA 2022

4年ぶりに賑わいを見せたお台場。誰もが友達になれるビーチパークを演出。

4年ぶりに「ジャパンビーチゲームズフェスティバル」がお台場ビーチに戻ってきた。2017年から開催されてきた「ジャパンビーチゲームズフェスティバル」は2019年以降、東京五輪の会場設営のため一般使用できなかったが、2022年より開放された。コロナ禍となって行動制限がない初めてのゴールデンウィークとなった今年は東京五輪後、初のスポーツイベントとして「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2022お台場」(以下・JBGFお台場)が5月3日(火・祝)~6日(金)に開催された。

イベントのコンセプトは「心のバリアフリー。誰もが友達になれるビーチ」。子どもから大人、ハンディキャップのある方もビーチで潮風、自然を感じながらスポーツを楽しむというものだ。ビーチスポーツ、マリンスポーツ、パラスポーツを一挙に実施し、会場内には車いすでも砂の上を動けるモビマットを設置。海辺と陸のバリアを取っ払った「はだしテーマパーク」を演出した。

5日(木・祝)には「こどもビーチ」の日と題して、親子で体験できる15競技を実施。およそ2000人の家族づれが参加し、3日間で合計50000人が初夏のお台場を満喫した。

■「心のバリアフリー」を体現した車いすバスケットボール ■人々の視線を釘付けにしたビーチチアダンスのパフォーマンス ■卓球とサッカーを織り交ぜたテックボールも会場を盛り上げた ■子どもたちの笑顔がはじけたビーチフラッグス ■「第1回大村杯」が開催されたビーチウッドボール ■全17団体が参加した4年ぶりのJBGFお台場

イベントを支える楽しさ。「ぼ活!」をつなぐバリアフリー

今回のJBGFお台場には日本財団ボランティアセンターによる募集サイト「ぼ活!」にて87名の親子および一般ボランティアが参加した。「ぼ活!」はこれまで要望がありながらも年齢制限など含め実現できなかった「親子ボランティア」を初めて実施。ボランティア活動を通じてイベントを支える楽しさ、自然の大切さを肌で感じていた参加者の姿がそこにあった。日本財団ボランティアセンターの豊永はるかさんは「お子さんとの交流の機会を求めていた親御さんから絆が深まったという喜びの声をいただいたので実現できてよかったです」と今後の展開に手応えを感じていた。

今回の一般ボランティアは、「東京2020」でボランティア経験者が数多く占めていたのも特徴だった。なかには聴覚に障がいを持つボランティアスタッフがパラスポーツをサポート。その場に手話ができるボランティアスタッフも帯同し二人三脚でイベントを支えていた。

ボランティアスタッフの最少年齢は8歳、最高年齢は68歳。年齢や国籍、ハンディキャップの有無関係なく、ボランティアスタッフの環境もバリアフリー。さらにパラスポーツのエリアでは、親子ボランティアスタッフが講師とともに楽しむ姿も。支える側と参加する側の心のバリアフリーが自然に形成されていたのが印象的だった。

豊永さんは「東京マラソンや東京2020の実績を考えると、いまや大きなスポーツイベントはボランティアなくして成立しません。大会の雰囲気の一端を作り上げるのがまさにボランティアスタッフ。今回は、JBGFお台場の趣旨にボランティアスタッフさんの意志がフィットした。これまで感じたことのない、いい雰囲気が漂っていました」と振り返った。

上:親子そろって初のボランティアに取り組んだ「ぼ活!」
左:親子のコミュニケーションの場として活用された

HADASHI BUNKA SHIMBUN

代表理事決意表明

ビーチ・マリンスポーツで町を元気に。

佐伯美香

日本ビーチ文化振興協会代表理事

日本ビーチ文化振興協会は2022年で20周年を迎えました。私自身、発足当初から微力ながらお手伝いをさせていただき、全国各地のビーチで皆さま方とふれあってきた記憶は、今も私の胸に刻まれています。

私は現在、四国の松山を拠点に活動しています。これまで当協会のイベントは、東日本および西日本エリアを中心に多数行って参りましたが、今後はまだ開催したことがない未開拓の地でイベントを開催し継続を目指していきたいと考えています。

4年ぶりにお台場で開催された「ジャパンビーチゲームズフェスティバル」では、新しく参入したモルックやコースタルローイングなどを含め、改めてビーチや海で楽しめるビーチスポーツ、マリンスポーツがたくさんあることを認識いたしました。大きなスペースが必要なく激しい動きをしなくても、楽しめる競技がビーチスポーツにはたくさん存在します。お子さんからご高齢の方、幅広い年齢層にその魅力を知っていただき広めていくことで、ビーチスポーツやマリンスポーツで町が活性化し元気になっていく、そんな未来を描いています。

また、当協会が目指している「ジャパンビーチゲームズ」の開催を実現し、ビーチスポーツやマリンスポーツの競技人口が増え、未来を担う若手選手の育成につなげられるように日々邁進して参ります。

「ビーチバレーボール」が体育の授業に。東京2020レガシー「おだいばビーチ」で始動。

港区立小中一貫教育校 お台場学園 港陽小学校・港陽中学校は、東京2020オリンピック・パラリンピック会場となった「おだいばビーチ（お台場海浜公園）」にて、東京都内初となる「ビーチバレーボール」を小学5年生と中学1年生を体育授業の課目となる新たな授業を始動した。

授業の目的は、お台場学園特有の立地である目の前に広がるビーチを活かし「はだし」になることで人間本来の足の機能を子どもたちに取り戻してもらうこと。生徒たちが改めて地元の自然環境にふれることでSDGsに添った授業を取り入れることができる。また、授業の運営サポートとして「港区青少年対策お台場地区委員会」の方々が参加、地元と一体となることで生徒たちの愛郷心を育んでいく

佐伯美香、浦田聖子を特別講師に迎え、9月12日（月）から全4回開催した。

おだいばビーチに笑顔が広がった

上：青空の下で行われたおだいばビーチでの授業。小学5年からビーチバレーボールを経験
下：パスを指導する佐伯講師

【概要】

- 開催日：9月12日（月）、10月13日（木）、10月17日（月）、10月24日（月）
- 主な授業内容：ビーチクリーン、準備体操、ボール慣れ、砂慣れ、パス、サーブ、レシーブ、トス、スパイク、つなぎ（レシーブ・トス・スパイクの流れの習得）

四国で初の開催！「ビーチライフin伊予」

四国初開催となる「ビーチライフin伊予」が10月9日（日）、愛媛県伊予市の五色姫海浜公園五色浜海岸で開催された。代表理事となって初めて地元・愛媛県で日本ビーチ文化振興協会のイベントを佐伯美香を中心に企画・運営。伊予市で駆わいを見せているビーチスポーツの体験会、フラダンスショーおよび体験が行われた。

開会セレモニーでは伊予市の武智邦典市長が登壇し、ビーチスポーツへの応援メッセージを送った。五色浜海岸には家族づれなど3000人ほどが訪れ、秋のビーチを体感した。

左：開会セレモニーの模様
右下：ビーチクリーンを行う武智市長と佐伯代表理事
左下：日本代表選手が講師を務めたビーチテニス

【概要】

- 主催：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
- 協力：海と日本プロジェクトinえひめ、愛媛県ビーチバレーボール連盟、B-SPORT EHIME（ビーチバレー）、一般社団法人日本ビーチテニス連盟、一般社団法人日本モルック協会、一般社団法人日本フレスコボール協会／川口ひらり（ビーチヨガ）、HULAPICNIC実行委員会、伊予市ビーチバレー普及委員会
- 協賛：株式会社ダイキアクシス
- 体験会プログラム：ビーチバレーボール体験会、ビーチテニス体験会、ビーチモルック体験会、フレスコボール体験会、ビーチヨガ、フラダンス、ビーチクリーン

編集後記

はだしの足跡

佐伯美香

代表理事になって初めて地元・愛媛県の伊予市で「ビーチライフ」のイベントを運営し開催いたしました。これまでビーチバレーボール関連の大会やイベントの運営経験はありましたが、他競技を含めスポーツ以外のコーディネートは私自身、初めてとなりました。いろんな分野の方と交流し、ひとつの目標に向かって進んでいくワクワク感、当日を迎えるまでのドキドキ感が交差しながらも無事にイベントを終えることができました。日本ビーチ文化振興協会も今年で20周年を迎えることができました。この先も「ワクワク」「ドキドキ」楽しみながら、海辺での楽しみ方を伝えていきたいと思います。

INFORMATION

あなたの街のビーチや港を紹介しませんか？

「はだし文化新聞」では、皆様の街のビーチや港の情報を随時募集しています。ぜひご意見をお寄せください。

〒104-0033
東京都中央区新川1-1-7 3階
NPO法人日本ビーチ文化振興協会
「はだし文化新聞」お便り係
メール：info@jbeach.jp
ファックス03-3552-1220

みなと総研
日本マリーナビーチ協会
夢から感動へハートテクノロジー
東洋建設
東亜建設工業 TOA CORPORATION
※順不同

HADASHI BUNKA SHIMBUN

JBGFお台場に初導入。海との距離を縮められるモビマット

車いすでもビーチを移動できるモビマットを導入した

年齢や障がいの有無にかかわらず、自然を身近に感じて楽しむことを実現できるのが、NPO法人湘南バリアフリーツアーセンターの榊原正博さんは「車いすだけではなくベビーカーの方々にも砂浜を波打ち際まで楽しんでいただけた。今後はハンディキャップのある方がもっと興味を持つようなコンテンツ、会場でどのような時間、空間を過ごせるのかを考えてサービスを提供していきたい」と展望を語った。

フリーツアーセンターが提供している、ゴム製のマット「モビマット」。JBGFお台場では、ビーチでのバリアフリーを実現するため、初めて砂浜に「モビマット」を設置した。

通常の車いすでは砂の上は動けないが、モビマットを使用すれば、スロープの延長線で前に進むことが可能となり海との距離を縮められる。NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター

次世代によりよい海辺環境を引き継ぐためのブルービーチプロジェクトを実施。

オリジナルのエコバックを使ってビーチクリーン

「海辺を守ろう！創ろう！育てよう！」というテーマで、日本ビーチ文化振興協会が取り組んでいる「ブルービーチプロジェクト」。近年は次世代によりよい海辺環境を引き継げるように活動の強化を図ってきた。JBGFお台場においても「遊」「快」「心」「安」をコンセプトにしたビーチクリーンや「海辺の安全教室」を開催。フジテレビキャラクターのラフくんとお台場ビーチクリーン大使の鈴木杏花さんが、オリジナルビーチクリーンバッグを使用してビーチクリーンに参加した。

「海辺の安全教室」では、日本ビーチ文化振興協会理事で日本ライフセービング協会認定インストラクター・遊佐雅美氏が紙芝居で海辺の正しい知識を発信し、ライフジャケットのつけ方などを指導。遊佐氏の声に子どもたちは真剣に耳を傾けていた。

遊佐氏の紙芝居による「海辺の安全教室」

New Sports Power ⑪

〈ビーチで生まれた新競技〉

文／小崎仁久

モルック Mölkky

木と木が当たる音が心地いい誰もが楽しめるスポーツ

上：木製の棒「モルック」を投げてピン「スキットル」を倒す
下：「スキットル」には番号が入っている

美しい森と湖を持つフィンランド・ラハティにルーツを持つスポーツが今、日本でもじわじわと人気を集めている。お笑いタレントが日本代表になり、テレビでは専門番組まで作られ、放送されている。

そのモルックは、1～12の数字が記された木製ピン「スキットル」をボーリングの様に並べ、それらに3～4m離れた場所から木製の棒「モルック」を投げて倒すスポーツ。1本のみ倒すとそのスキットルの数字が得点となり、複数本倒すとその本数が得点となる。順に投てきを行い、足した得点がちょうど50点となると勝利。

狙う点数によってモルックの投げ方は多種あり、技術や経験が求められる。

ただ、倒れたスキットルは弾かれた地点で再び立ててゲームが進むため、刻々と並び方は変化する。また点数が50点を超えてしまうと減点され25点となるので、戦略性も勝敗を分ける。

10年ほど前にモルックを日本に持ち込んだ張本人、八ツ賀秀一日本モルック協会代表理事は「フィンランドではビールを片手に楽しむスポーツで、コミュニケーションのツールなんです」と話し、親技性よりも、様々な壁を取り払うスポーツであることを強調する。「年齢、性別や障がいの有無も関係なしに一緒できることが最大の特徴」とパラスポーツとの親和性も謳る。

木と木が当たる音も心地いい。北欧の森に思いを馳せながらモルックを投げれば、すぐに仲間になれること請け合いである。

海辺と街が調和するアーバンビーチ

千葉市のシンボル・ポートタワー周辺の夜景

いなげの浜にある海へ延びるウッドデッキ。先端にはくつろげるスペースも

おらが街のビーチ自慢

うちに来てよ！来てよ！

～ここはいいトコ、一度はおいで～

千葉県・千葉市

千葉市は人工海浜において日本一の総延長を誇るビーチがある街です。いなげの浜、検見川の浜、幕張の浜の総延長は4・3kmに及びます。いなげの浜は日本初の人工海浜。東京都心に近い海水浴場として賑わっています。検見川の浜はウインドサーフィンなどのマリンスポーツが盛ん。幕張の浜は花火大会やロックフェスなどのイベントが開催されることで知られています。3つの浜からは東京湾越しに高層ビル群や東京スカイツリーや富士山など絶景のロケーションを眺められます。

千葉市自慢の自然と都会を一度に満喫できるアーバンビーチを生活のあらゆる面で活用できるように、と海辺のグランドデザインを策定。2019年にはいなげの浜をリニューアルしました。真っ白でサラサラとした手触りが特徴のオーストラリア産のホワイトサンドを使用し、海へ延びるウッドデッキも建設。スポーツイベントの開催や砂遊びなど海辺を身近に感じられるビーチとして支持を受けています。

3つの浜は自然と都会が調和したビーチ

地域DATA

人口●97万8,991人（2022年10月時点）
代表ビーチ●いなげの浜、検見川の浜、幕張の浜
観光名所●千葉ポートタワー、稲毛海浜公園、千葉港
名産●落花生

おらが街の味自慢

千葉市産のブランド「千」認定さんたファーム

こだわり冷凍いちご

さんたファーム（若葉区御殿町1-91）のこだわり冷凍いちご

ファミリーで楽しめるレジャーとして人気のイチゴ狩り。千葉市にはバリアフリー対応の農園が多数存在し、つやつやの完熟イチゴが味わえます。おすすめは、新鮮なイチゴのおいしさをそのまま真空パックに閉じ込めた「冷凍いちご」。サクサクした食感が特長で飾りいちごやワインの氷代わりにもぴったりの一品です。

HADASHI BUNKA SHIMBUN

予測以上の盛況ぶりを見せた注目の競技・コースタルローイング

波の静かなお台場沖にボートを浮かべたボート試乗会が大盛況だったのは、コースタルローイングだった。一般の方にはローイング（ボート競技）を観戦したり、まして競技ボートに乗る機会はほとんどなかったからか、予想以上に希望者が殺到。カップルから家族連れまで多くの人がコースタルボートを楽しんだ。

ローイングは、長い伝統と格式のあるスポーツ。ただし、競技としては何百年に渡り、河川縦なぎ波のない水面でのみ競われてきた。

2006年、その伝統と格式を覆すように始まったのが、海での種目、コースタルローイングである。専用の船体はレガッタのように細く不安定ではなく、転覆しづらく、波を乗り越えていく頑丈さを持ち合わせている。競技としての面白さとエンターテイメント性で、海外では急速に大会が増えている。

これには日本ボート協会コースタルローイングオフィサーの武田泰明さんも驚きとともに喜びの声を上げる。「ストイックな競技のローイングのイベントにこれほど人が集まることはありません（笑）」

コースタルローイングは2028年ロサンゼルス五輪での競技採用が検討されている。日本ではスタートしたばかりの種目で、強化とともに普及は重要課題。これまでのローイングのイメージを変えるコースタルに「多くの人に興味を持ってもらえたことはよかったです」と武田さんは話した。

28年ロサンゼルス五輪採用競技候補にあがっているコースタルローイング

上：パラスポーツとして認知度が高まっているボッチャを楽しむ親子
下：車いすバスケットボール体験会では東京パラリンピック選手村副村長の根木氏がサポートした

オリパラで認知が上がったパラスポーツを家族そろって楽しむ場

東京2020パラリンピックでも人気を博した「車いすバスケットボール」と「ボッチャ」。東京2020をきっかけに多くの人々に周知されたこともあり、多くの参加者が気軽に参加した。およそ300人の家族づれが体験し、賑わいを見せていた。

自身も車いすバスケットボール日本代表選手として活躍し、東京2020パラリンピックでは日本代表男子チームが銀メダルを獲得。東京2020パラリンピック選手村副村長を務めていた根木慎志さんは「オリパラでパラスポーツを知ってもらった後、車いすバスケとボッチャを体験できる場所があることは本当に素晴らしいこと。潮風を感じながらバスケットボールを家族で楽しんでもらえる時間を過ごせた」と交流できる喜びを語った。

東京2020の競技会場を活用したアクアスロンのパフォーマンス

お台場ビーチの波打ち際と内海を活用して行われたアクアスロン

お台場海浜公園は、東京2020オリンピックのトライアスロン、パラリンピックのパラトライアスロンの競技会場となった場所だ。残念ながら東京2020は無観客大会となり、トライアスリートのオリンピアン、パラリンピアンのパフォーマンスを見ることは叶わなかったが、彼らが泳ぎ、走ったお台場でビーチアクアスロンが行われた。

トライアスロンの3種目と異なり、スイムとランの2種目で競うのがアクアスロン。バイクがないため、出場しやすく競技者も多い。ただ、そのランを、砂に足を取られるビーチで行うビーチアクアスロンは、少し異なる難しさも加わる。

今大会の選手は総勢80名を超え、距離の短いスプリントとスタンダードの2レースを実施。初心者から将来有望なジュニア選手まで、なかには70歳を超える選手も参加し、アクアスロンの魅力の高さも示す形となった。

東京都トライアスロン連合の大村真人会長は「トライアスロンシーズンの始まりを告げる大会。これまでコロナで大会中止も続いていたので、久々の腕試しのレースです」とお台場ビーチアクアスロンの意義を話す。

お台場の内海を泳ぎ、ランのコースは波打ち際。お台場海浜公園に遊びに来た観光客の目の前で繰り広げられるレースに、思わず歓声も飛んでいた。

砂ソムリエ ～朝日健太郎が目利きする～ 第13回

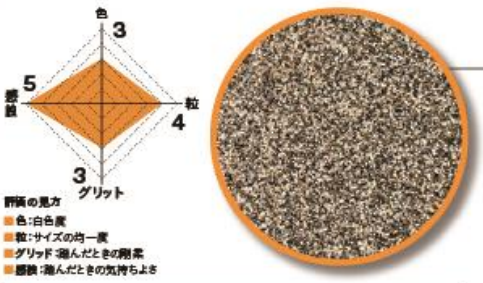
柏崎市・鯨波海水浴場

日本・新潟県

元プロビーチバレーボールプレーヤー・朝日健太郎が各地の砂を踏んで触ってビーチスポーツにふさわしい砂を選ぶ「砂ソムリエ」は、"足跡の数"で評価する。足跡3つが最高だ。さて連載第13回で取り上げるのは、「日本の渚百選」に選ばれたことがある柏崎市鯨波の砂。

静けさの漂う気持ちのいいビーチである。世界中を周ってきたが、夏の日本海は特におすすめ。ここ鯨波は、地名の響きとは違う暖かみを感じることができる。

その演出に一役買ってくれる砂だけあって、子どもたちにも人気が高い。夏の景色しかまだ知らないが、寒風吹き荒れる季節にはきっと耐え忍ぶ時間を過ごしているのだろう。そのおかげで、夏の輝きが最高である。



評価の見方
- 色：白色度
- 粒：サイズの均一度
- グリッド：踏んだときの粉末
- 感触：踏んだときの気持ちよさ

総合評価			
〈はだし〉2つ!!	👣	👣	

リリース記事

Press Release

令和4年4月15日
ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会

東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー

全17種類のビーチ・マリンスポーツが“3年ぶり”にお台場に集結！

5月3日（火・祝）～6日（金）お台場海浜公園おだいばビーチにて『JAPAN BEACH GAMES®Festivalお台場2022』を開催いたします。

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（代表理事　遊佐雅美　所在地：東京都中央区新川）は、5月3日（火・祝）～6日（金）まで東京都お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区)にてビーチゲームズ日本招致プロジェクト『JAPAN BEACH GAMES® Festivalお台場2022（ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場2022）』を3年ぶりに開催いたします。

本大会は、2008年（インドネシア・バリ）から2年（2016年から4年毎に改正）に一度開催されているビーチスポーツ、マリンスポーツ、ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」（アジアオリンピック評議会主催）、2019年（ドーハ）開催された「ワールドビーチゲームズ」（国内オリンピック委員会連合主催）を日本に招致する啓発活動の一環として、各種ビーチ・マリンスポーツの公式戦を集結したイベントです。

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2018 会場

東京2020オリンピック・パラリンピックの「トライアスロン」会場であった「おだいばビーチ」をイベント会場とし、全17種類のビーチ・マリンスポーツが一同に集結し白熱したゲームが繰り広げられます。また、魅了するだけでなくその場で体験できる場も設け、更にスポーツの楽しさを体感いただく事で、ビーチの気持ちよさ、ビーチスポーツの魅力を堪能できる内容となっております。

また、東京2020オリ・パラ会場であった場所で5月5日子どもの日には、ファミリーで気軽に参加できるプログラムも加味し、中でも話題沸騰中のフィンランド発祥スポーツ「モルック」や「ビーサン跳ばし」「ビーチフラッグス」「フライングディスク」、綱渡りとトランポリンを合わせたスポーツ「スラックライン」国内のトップアスリート選手が指導する「ビーチバレーボール」「ビーチテニス」「ビーチサッカー」などのスクールも実施し、延べ17種類のスポーツを無料体験することができます。

開催期間中は「心のバリアフリー」企画として、どなたでも海辺で楽しく過ごせるように、砂浜にゴムマットを設置し、車椅子で生活されている方、視覚に障害がある方も砂浜へ１歩踏み出しやすくなる仕組みとなっており、車いすバスケットボールやボッチャも体験できます。まさにオリ・パラレガシーとしてお台場から「スポーツ普及と国際大会日本招致」の発信を致します。

Press Release

JAPAN BEACH GAMES

全プログラム紹介 <ビーチ・マリンスポーツ　17種>

ビーチバレーボール

ビーチテニス

ビーチサッカー

フレスコボール

スラックライン

ビーチウッドボール

ビーチフラッグス

デックボール

トライアスロン

フライングディスク

モルック

ビーサン跳ばし

ビーチリトミック（ビーチde太鼓・リボン体操）

コースタルローイング

車いすバスケット

ボッチャ

ビーチチア&ダンスコンテスト

2022/9/30

関係者各位

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

【ビーチバレーボール オリンピアン 佐伯美香 主催！】

2022年10月9日(日)「五色姫海浜公園 五色浜」にて

6種のビーチスポーツが集結し「ビーチライフin伊予」を初開催します！

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（所在地：東京都中央区 代表理事 佐伯美香 ）は、「海辺の通年活用による地域活性」を目的に、人と海辺のかかわりを深め、全国の海辺でイベントを通して啓発活動を行っております。この度、「五色姫海浜公園 五色浜（愛媛県伊予市）」にて、2022年10月9日（日）に「ビーチライフin伊予」を初開催します。会場では誰でも無料で体験できる6種目のビーチスポーツをトップクラスの選手を講師とし、秋のビーチを1日楽しく過ごせる空間を演出します。「ビーチバレーボール体験会」では、愛媛県出身のビーチバレーボールオリンピアン 佐伯美香が特別講師として登場します。

会場を盛り上げる講師たち。【佐伯美香（写真左）】【ビーチテニス日本代表　大塚絵梨奈（右写真内　左）本間江梨（右写真内　右）】

愛媛県は、海・ビーチの活用に適した温暖な環境にあり、ビーチバレーボールを中心としてビーチ活用が盛んです。この活用を通年、次世代に繋ぐ活動として普及してゆくため、スポーツが苦手な方でも、誰でも楽しめる機会を多く作ります。また、この趣旨に基づいた横の繋がり（ネットワーク）を強化し、伊予市の資源であるビーチを大いに活用し、様々なビーチスポーツを普及し健康的に元気よく『心が豊かな暮らし』に繋げる事を当イベントの目的としています。

スタートとなる今回は、地元で活動する競技団体が中心となり、「ビーチバレーボール」「ビーチテニス」「フレスコボール」の大会・体験会をはじめ、誰でもすぐに楽しめる"話題沸騰中"の「ビーチモルック」「ビーチヨガ」「フラダンス」等、ビーチスポーツやリラクゼーションを通じて「五色姫海浜公園 五色浜」で新たな海辺の過ごし方が満喫できる 一日となっています。

また、「ビーチ×環境」の取り組みである「ブルービーチプロジェクト」（SDGs 14.「海の豊かさを守ろう」に基づいた活動）ビーチクリーン、海辺を安全に過ごすための防災意識を高めるため、避難場所の確認をPRし、海辺を使う正しい知識も育みに努めます。

【開催概要】

開催日程 ：2022年10月9日（日）8：00～16：00
実施会場 ：五色姫海浜公園 五色浜（愛媛県伊予市）
入場料 ：無料
主　催 ：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
後　援 ：伊予市
協　賛 ：株式会社ダイキアクシス
協　力 ：海と日本プロジェクトinえひめ、愛媛県ビーチバレーボール連盟、
B-SPORT EHIME（ビーチバレーボール）、
一般社団法人日本ビーチテニス連盟／日本代表 本間江梨・大塚絵梨奈、
一般社団法人日本モルック協会／今治モルッククラブレッドゴリラーズ・久万高原 山と森とモルック、
一般社団法人日本フレスコボール協会／しまなみフレスコボールクラブ、川口ひらり(ビーチヨガ)
HULAPICNIC実行委員会

Press Release

2022/9/26
ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト　千葉市政令指定都市移行30周年

全16種類のビーチ・マリンスポーツ集結！日本最大級のビーチスポーツの祭典！

10月22日（土）/ 23日（日）稲毛海浜公園いなげの浜にて

『JAPAN BEACH GAMES®Festival CHIBA 2022』を開催いたします。

ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉実行委員会（事務局：NPO法人日本ビーチ文化振興協会）は、10月22日（日）／23日（日）の2日間、稲毛海浜公園いなげの浜(千葉県千葉市)にてビーチゲームズ日本招致プロジェクト『JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA 2022（ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉2022）』を開催いたします。

本イベントは、2008年（インドネシア・バリ）から2年（2016年から4年毎に改正）に一度開催されているビーチスポーツ・マリンスポーツ・ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」（アジアオリンピック評議会主催）、2019年（ドーハ）開催され、2023年（バリ）に開催を予定している「ワールドビーチゲームズ」（国内オリンピック委員会連合主催）を日本に招致する啓発活動の一環として、各種ビーチ・マリンスポーツの公式戦を集結したイベントです。

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2022
オフィシャルロゴマーク

ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル千葉2020
スラックライン大会　会場

本イベントは、「千葉市政令指定都市移行30周年」として、2020年に開催以降(2021年はコロナウィルス感染拡大の為、中止)2年ぶりの開催となります。「『千葉市をビーチスポーツのメッカに！』ビーチスポーツを活用した千葉市元気向上プロジェクト！いなげの浜から全国にビーチライフを発信しよう。」を開催コンセプトとし、千葉市が誇る都市型ビーチにおいて、ビーチスポーツの観戦・体験ができるイベントを開催することにより、スポーツの振興、海辺の活性化、千葉市におけるビーチ文化の振興を目的とします。また、継続的な取り組みにより地元市民がビーチを訪れ、砂浜を楽しむ習慣が創出されることも同時に目指します。

今年の参加競技団体数は、前回開催時より大幅に増え【16種類】のビーチ・マリンスポーツがいなげの浜に集結します。「ソーシャルディスタンススポーツ」として話題を呼んだ「フレスコボール」では、本場ブラジルで開催される選手権の出場枠を決める大会が開催され、近年「エクストリームスポーツ」として人気絶頂の「スラックライン」や国内トップ選手が集う「ビーチテニス」等の白熱した試合を間近で観戦・体験する事が出来ます。その他、話題沸騰中の競技「モルック」や「ラウンドネット」、老若男女だれでもが楽しむことのできる「ビーサン跳ばし」といった競技も無料で体験が出来ます。「ビーチウッドボール」では、地元自治会大会が開催され、地域一体となった日本最大級のビーチ・マリンスポーツの大型イベントとなります。

Press Release

JAPAN BEACH GAMES

■ 全プログラム紹介 <ビーチ・マリンスポーツ 16種>

フレスコボール

スラックライン

ビーチテニス

ビーチサッカー

ビーチバレーボール

テックバレーボール

ラウンドネット

ビーチチア＆ダンスコンテスト

モルック

ビーチウッドボール

ビーチフラッグス

コースタルローイング

フライングディスク

ビーチリトミック

ビーチトライアスロン

ビーサン跳ばし

■ 海辺の安全教室

特別講師：遊佐雅美（NPO法人日本ビーチ文化振興協会 理事）

海辺に潜む危険や、万が一の時の為に知っておきたい知識を紙芝居や
実践を交えてお伝えします。
海に囲まれた日本だからこそ、楽しく海辺で過ごすための備えを伝授します。

関係者各位

2022/9/16
NPO法人日本ビーチ文化振興協会

【港区立小中一貫教育校お台場学園】
2022年9月12日(月)より、"都内初"体育授業として「ビーチバレーボール」始動！
東京2020オリンピックレガシー「おだいばビーチ」にて、オリンピアンが特別講師として参加！

港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小学校・港陽中学校（校長　大島 一浩　所在地：東京都港区）は、東京2020オリンピック・パラリンピック会場となった「おだいばビーチ（お台場海浜公園）」にて、東京都内初となる「ビーチバレーボール」を体育授業の課目のひとつとした、新たな授業を始動いたします。授業の特別講師として、アトランタ・北京・シドニーオリンピック出場経験を持つ佐伯美香（NPO法人日本ビーチ文化振興協会　代表理事）、元ビーチバレーボールアスリート浦田聖子（NPO法人日本ビーチ文化振興協会　理事）を迎え、トップアスリート直々に生徒へ授業を実施致します。

お台場学園特有の立地である目の前に広がるビーチを活かし、「はだし」になり潮風を深呼吸することで、心身とも健康になり人間本来の足の機能を子どもたちに取り戻してもらいたい、という思いと、生徒達が改めて地元の魅力に気付く機会となる事を目的としております。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催後、正式種目である「ビーチバレーボール」を取り入れ、憧れのアスリートによる指導を受ける事から、楽しくスポーツを満喫し、生徒たちに夢や目標を持っていただき、やがてはお台場からオリンピアンの創出に繋がる様、取り組んで参ります。さらに、自然環境に触れる事で、SDGｓに添った最も新しい授業としての魅力も大いに取り入れることができます。

また、授業の運営サポートとして「港区青少年対策お台場地区委員会」の方々が参加致します。地元と一体となることで、生徒たちの愛郷心を育むことも、当授業の目的としています。

■概要

対　　象　：小学5年生　、　中学1年生
実施候補日：2022年9月12日（月）、9月22日（木）、10月3日（月）、10月13日（木）
　　（予備日：10月17日（月）、24日（月））　計4日間　9：00～15：00
場　　所　：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
時間割り　：1・2時間目　5年1組　／　3・4時間目　5年2組　／　5・6時間目　中学1年生
授業内容　：1回目　ビーチクリーン、準備体操、ボール慣れ、砂慣れ
　　2回目　ビーチクリーン、準備体操、パス、サーブ、レシーブ、トス、スパイク
　　3回目　ビーチクリーン、準備体操、つなぎ（レシーブ・トス・スパイクの流れの習得）
　　4回目　ビーチクリーン、準備体操、4人制ゲーム

■第一回の様子【9月12日（月）】

授業は「ビーチクリーン」から始まり、自分たちが使用するコートを自らの手で綺麗にする所から始まります（写真　左上）。
次に、コートの周りを「ランニング」します。はだしで砂浜の感触を確かめていきます（写真　右上）。

次に、ボールに触れ、簡単なキャッチングやパス回しを行い、徐々にボールに慣れていきます（写真　中左右）。

講師（浦田聖子）とコミュニケーションを図りながら、楽しく授業が進行していきます（写真　左下）。
最後は、基礎技術のひとつ「オーバーハンドパス（トス）」を講師（佐伯美香）より伝授します（写真　右下）。

■講師プロフィール

NPO法人日本ビーチ文化振興協会　代表理事
佐伯 美香（さいき みか）

出身地：愛媛県松山市
1996年　バレーボール女子日本代表に選出
　　アトランタオリンピック出場（9位）
2000年　ビーチバレーボール女子日本代表
　　シドニーオリンピック出場（4位）
2008年　北京オリンピック出場
2022年7月　NPO法人日本ビーチ文化振興協会　代表理事就任

・松山東雲女子大学短期大学　バレーボール部、ビーチバレーボール部
　監督
・B-SPORT EHIME（ビースポルトえひめ）　代表
・オーカバレーボールスクール愛媛校　代表
■指導者資格
・日本スポーツ協会　公認スポーツ指導者資格
・公認バレーボールコーチ4
・ジュニアスポーツ指導員

NPO法人日本ビーチ文化振興協会　理事
浦田 聖子（うらた さとこ）

出身地：佐賀県
2004年　佐伯美香とペアを組み、FIVBワールドツアー 7 位
2005年　JBVツアー東京・福岡大会　優勝

～　　各大会優勝　多数

2010年　NPO法人日本ビーチ文化振興協会　理事就任
　　アジア競技大会2回出場
2016年　ビーチバレーボール選手の庄司憲右選手と結婚し、1児のママに。

■指導者資格
・コーチングアシスタント

プレスリリース問合せ先
NPO法人日本ビーチ文化振興協会　広報担当　吉澤 頌平（しょうへい）
TEL:03-3552-1171　　Email: info@jbeach.jp

Press Release

【開催概要】

名　　称　：JAPAN BEACH GAMES® Festival CHIBA2022
開催日程　：2022年10月22日（土）～10月23日（日）
　　9：45 ～ 17：00
実施会場　：稲毛海浜公園いなげの浜（千葉県千葉市）
入場料　：無料
主　　催　：ジャパンビーチゲームズフェティバル千葉実行委員会
後　　援　：国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、千葉県
協　　賛　：東日本旅客鉄道株式会社千葉支社、
　　千葉市職員労働組合、株式会社ベイエフエム、
　　株式会社ワールドパーク
公式サイト　：https://jbgf.jp/chiba2022/

プレスリリース問合せ先
NPO法人日本ビーチ文化振興協会 広報担当 吉澤 頌平（しょうへい）
TEL:03-3552-1171 FAX：03-3552-1220 Email: info@jbeach.jp

Press Release

2022/11/2
NPO法人日本ビーチ文化振興協会

【ビーチライフin須磨2022 開催決定】

2022年11月6日（日）須磨海岸にて、ビーチスポーツ×フードを楽しみ、
1日を通して海辺の過ごし方（ビーチライフ）を満喫できるイベントを開催します！
ビーチバレーボール体験会講師には、オリンピアン佐伯美香が初登場します！

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（代表理事 佐伯美香 所在地：東京都中央区新川）は、「海辺の通年利活用による地域活性」を目的に、人と海辺のかかわりを深め、全国の海辺の多目的活用イベントを通して啓発活動を行っております。11月6日（日）は、兵庫県神戸市須磨海岸にて、3年ぶりとなる「ビーチライフin須磨2022」が開催されます。「夏の海水浴だけではなく、四季を通じて地域住民がビーチを利用し、ヘルスアップ、青少年育成、憩いの場として活用する」「ビーチ・マリンスポーツの啓発、活用による観光誘致促進」「海・海辺の自然環境を保護する」事を目的とし、海辺の利活用を通じて地域活性化を図る地元一体型のイベントとなっております。

本イベントでは、ビーチスポーツ界のオリンピックである「ワールドビーチゲームズ」にて正式種目である「4人制ビーチバレーボール」の地元大会（事前エントリー）「ビーチバレーボール 佐伯美香カップ」が開催され、会場を盛り上げます。当日申込みの「ビーチバレーボール体験会」では特別講師としてアトランタ・北京・シドニーオリンピック出場経験を持つ佐伯美香が登場し、参加者へ直接指導を行います。木製ボールを「マレット」と呼ばれる先端がボトル状になったクラブで打つ「ビーチウッドボール」は、無料体験会と地元企業が集い「大村杯」を開催します。老若男女問わず大人気レクリエーションの「ビーサン跳ばし大会」も公式戦を開催し、現在の公式記録33.13mへの挑戦者を集います。

「すま（須磨）いる食堂」では、地産地消をテーマに地元のキッチンカーが集いフードエリアを盛り上げます。ビーチに用意された飲食スペースにて、裸足になり、ビーチスポーツを観戦しつつ、須磨海岸の景観を存分に感じながらゆったりと過ごすことができます。秋晴れの気持ちが良い時期を、1日通してどなたでも楽しめるイベントとなっています。

また、「ビーチ×環境」の取り組みである「ブルービーチプロジェクト」（SDGs 14.「海の豊かさを守ろう」に基づいた活動）ビーチクリーン、海辺を安全に過ごすための防災意識を高めるため、避難場所の確認をPRし、海辺を使う正しい知識も育みに努めます。

1

Press Release

■プログラム紹介

□ビーチバレーボール佐伯美香カップ・ビーチバレーボール体験会

会場を盛り上げる講師 佐伯美香

□ビーチウッドボール大村杯・ビーチウッドボール体験会

□ビーサン跳ばし大会

□すま（須磨）いる食堂

2019年開催時

2

Press Release

【開催概要】

名　　称　：ビーチライフin須磨2022
開催日程　：2022年11月6日（日）
　　9：00 ～ 16：00
実施会場　：須磨海岸（兵庫県神戸市）
入場料　：無料
主　　催　：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
後　　援　：国土交通省近畿地方整備局、神戸市
協　　賛　：一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟、
　　兵庫県ビーチバレーボール連盟、日本木球連盟。
　　ビーサン協会、NPO法人ALL KOBE

プレスリリース問合せ先
NPO法人日本ビーチ文化振興協会 広報担当 吉澤 頌平（しょうへい）
TEL:03-3552-1171 FAX：03-3552-1220 Email: info@jbeach.jp

皆様とビーチで**はだし**になって笑顔でお会いできることを

心より楽しみにしております 👣